

## 「町田市における地域コミュニティの未来に関する共同研究」 の進捗状況について

### 1 研究背景・目的

コロナ禍等の社会環境の変化による地域活動の縮小、民生委員や消防団員などの担い手の減少など、地域コミュニティの希薄化が進んでいる傾向があります。

市民生活において、地域コミュニティが重要な役割を果たしている地域福祉や地域防災を将来にわたって持続可能なものとし、「住み続けたいまち」であり続けるため、法政大学と共同で研究に取り組んでいます。

### 2 主な進捗状況

#### (1) 市民アンケート調査

調査目的：地域コミュニティに関する意識や活動の現状、生活実態の把握

調査対象：2024年8月1日時点で市内在住の15歳以上80歳未満の方  
1万人を住民基本台帳から無作為に抽出

回答率：34.7%（集計結果は別紙のとおり）

#### (2) 地域活動団体へのインタビュー調査

調査目的：地域で活動する様々な団体の実情、課題、他団体との連携状況等の把握

調査期間：2024年6月から現在も進行中（2025年2月現在29か所）

調査先：町内会・自治会連合会地区連合

民生委員児童委員協議会

消防団ほか

主な質問：活動内容、抱えている課題、地域で活動する他団体との関係や連携有無

#### (3) 学識者との意見交換会の実施

市民アンケート調査や地域活動団体へのインタビュー調査により得られたデータを検討し考察を深めるため、コミュニティ政策、まちづくり、福祉、人口統計等の専門分野の学識者との意見交換会を計4回行いました。

### 3 分析により得られた主な考察

アンケート調査やインタビュー等から、主に以下の考察が得られました。

#### (1) 暮らしやすい都市への成熟

居住年数の長い人や地域に愛着を持つ人が増えており、定住意向も高まっています。（別紙 市民アンケート調査集計結果（速報） 問7、問8参照）

#### (2) 懸念される地域力低下の兆候

町内会・自治会活動などの地域活動に参加しない人が増えています。また、地域で生じている問題に関する合意形成について、行政主導を求める意向が増えています。

（別紙 市民アンケート調査集計結果（速報） 問12、問15参照）

(3) 地域力低下の兆候の要因となっている客観的な構造変化

定年退職後に仕事をしていない人、家事専従者、自営業者といった、今まで主に地域でボランティア活動を担ってきた人の層が薄くなっています。また、近年地域コミュニティに求められている活動は、防災や地域福祉など一定の専門人材を必要とする分野であり、従来地域コミュニティが行ってきた活動内容とのギャップが見受けられます。(別紙 市民アンケート調査集計結果 問11、問11-1、問38参照)

(4) 高い市民意識と地域コミュニティ再生への手ごかり

インタビュー調査では、地域力低下の兆候が見られる中でも、町田市内には活発で質の高い地域活動が数多く存在していることがわかりました。また、アンケート調査によると、地域で頼みたいことと頼まれたらできることの需給のバランスは専門性の高い項目を除いて取れており、潜在的な地域における支え合いの意識は高い状況にあると考えられます。(別紙 市民アンケート調査集計結果(速報) 問4参照)

(5) 新しい地域コミュニティの活動スタイルと制度設計

市民が期待する地域活動分野のうち、地域コミュニティが現時点では十分に組み込まれていない分野に取り組むことで、町内会・自治会をはじめとした地域コミュニティ組織への信頼が増していくものと考えられます。また、町田市のコミュニティエリアは活動分野や担い手の状況によって柔軟に設定されているため、小中学校区等の適切なエリア設定を行うことにより、活気あるコミュニティ組織の形成に寄与することがある可能性があります。

(6) 行政、専門機関に求められるもの

すでに存在する専門職のコーディネーターを地域づくりの資源としてより活かすことで、地域コミュニティのアウトリーチやコーディネート機能の強化が期待できます。

## 4 中間報告について

市民アンケート調査については回答を集計・分析し、2025年3月に中間報告として公表します。

## 5 今後の予定

2025年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研究経過報告会の実施 (全体会1回+各地区10回)						研究報告取りまとめ				最終報告書の作成	
中間報告の検証 地域活動団体への調査・集計・分析 インタビュー調査・集計・分析											

## 【別紙】地域コミュニティに関する市民アンケート調査集計（中間報告）

### 1 調査目的

市では、持続可能な地域社会をつくり、地域ぐるみで見守り合い、助け合える場づくりを目指すため、2024年度から法政大学と共同で地域コミュニティに関する研究を行っております。価値観やライフスタイルの多様化、新型コロナウイルス感染症の影響による地域活動の縮小、民生委員や消防団員等の担い手の減少などにより、地域コミュニティが希薄化しているといわれているなか、市民意識の変化を把握、分析し、今後の施策検討の基礎資料とすることを目的としています。

### 2 調査項目

調査項目	調査内容
お住まいの地域について	「地域」の範囲、地域への愛着、地域課題など
町内会・自治会や自主的活動への参加状況について	町内会・自治会の加入の有無、加入理由、未加入理由、参加している地域活動、活動時間など
活動のための場所について	施設の認知度・利用歴・利用意向など
町内会・自治会や自主的活動への今後の参加意向について	今後参加したい地域活動のテーマ、地域活動に参加しやすい曜日・時間帯など
アンケート対象者の生活と相談機関について	困りごと、困りごとの相談相手、相談機関の認知度・利用歴・利用意向など
基本属性	性別、年齢、世帯構成、居住地区、職業など

### 3 調査設計

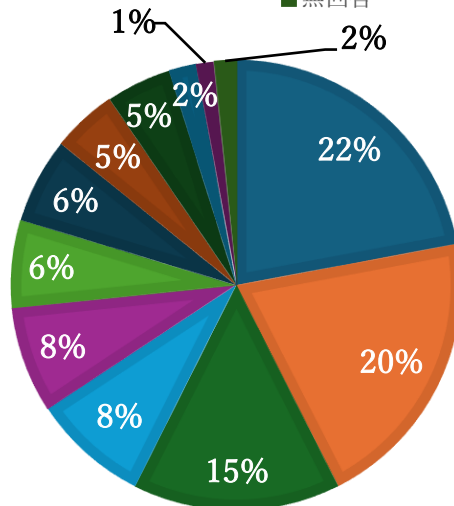
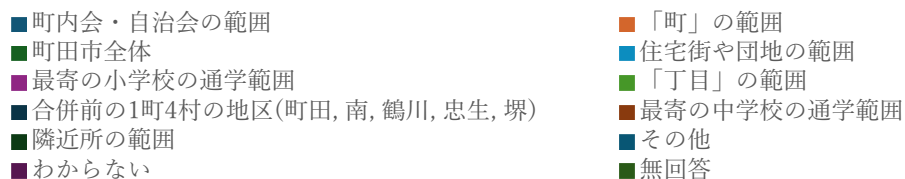
- (1) 調査地域 町田市全域
- (2) 調査対象 市内在住の15歳以上80歳未満の男女個人  
(2024年8月1日現在)
- (3) 対象者数 10,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出（外国人を含む）
- (5) 調査方法 郵送による配布、郵送及びインターネットによる回収
- (6) 調査時期 2024年9月

### 4 回収結果

- (1) 調査件数 10,000件
- (2) 有効回収数 3,472件
- (3) 有効回収率 34.7%

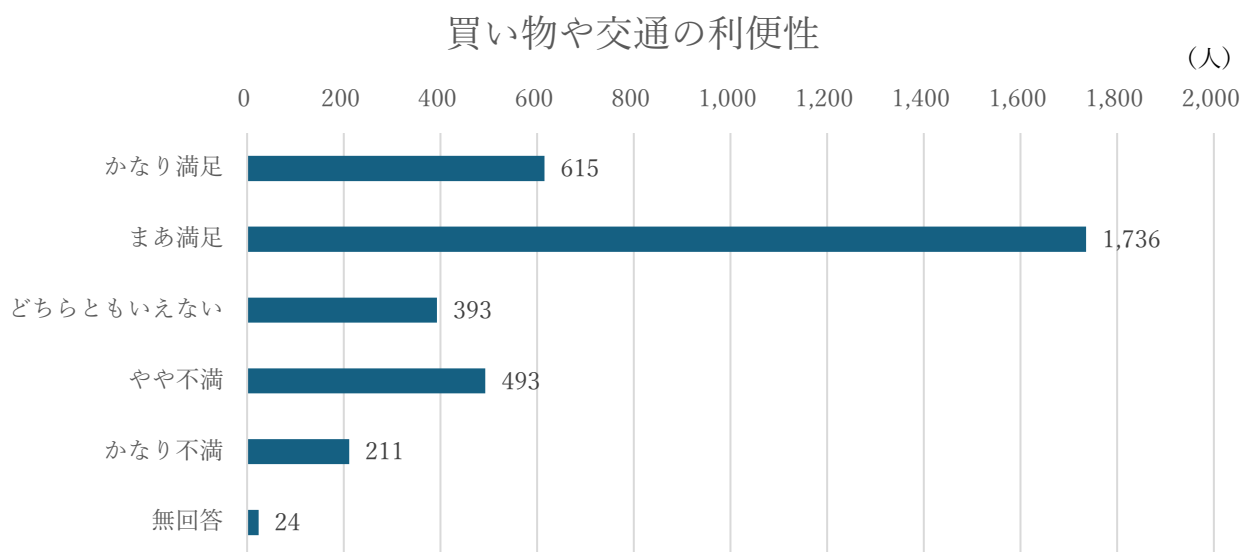
## 5 集計結果

### 問1 地域の範囲のイメージ（1つ選択）

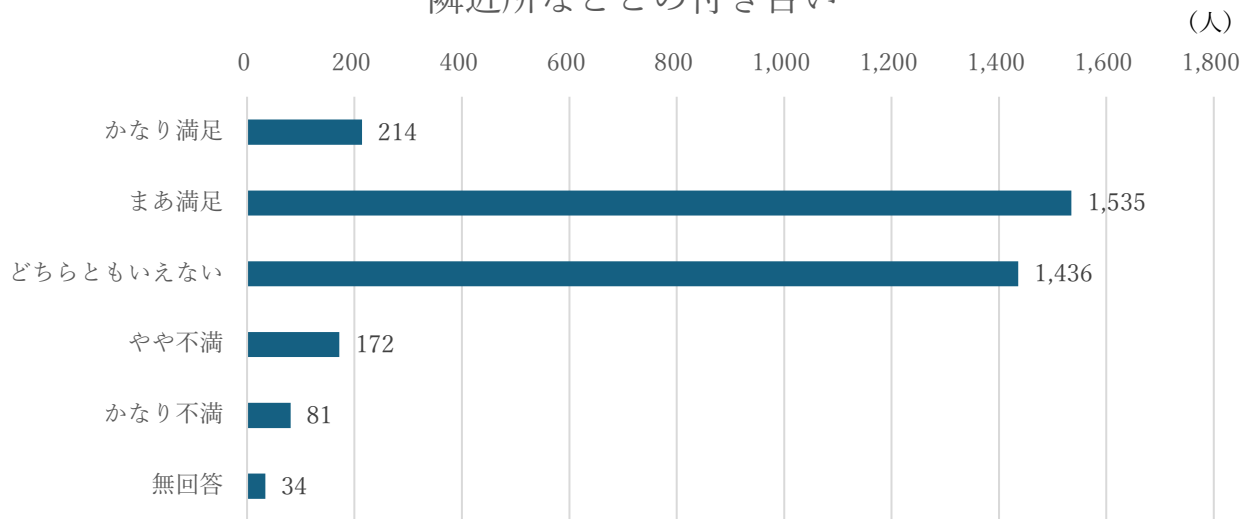


地域の範囲については、「町内会・自治会の範囲」、「町」の範囲、「町田市全体」の順で回答数が多くなっている。2006 年度調査では「町内会・自治会の範囲」という回答は約 35%あったが、今回の調査では約 22%に低下した。

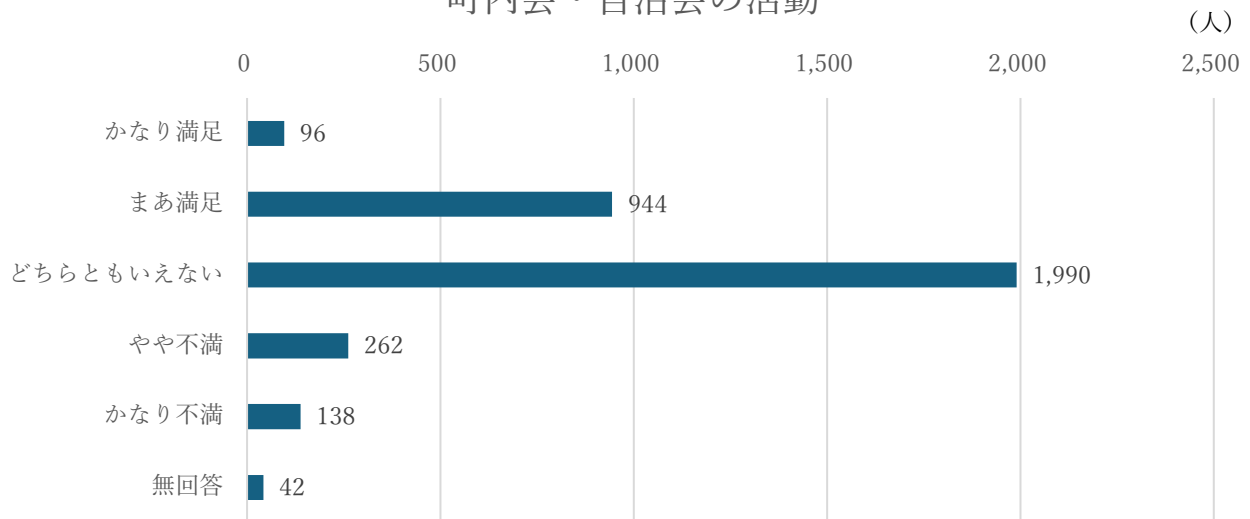
### 問2 暮らしやすさの満足度（1つ選択）



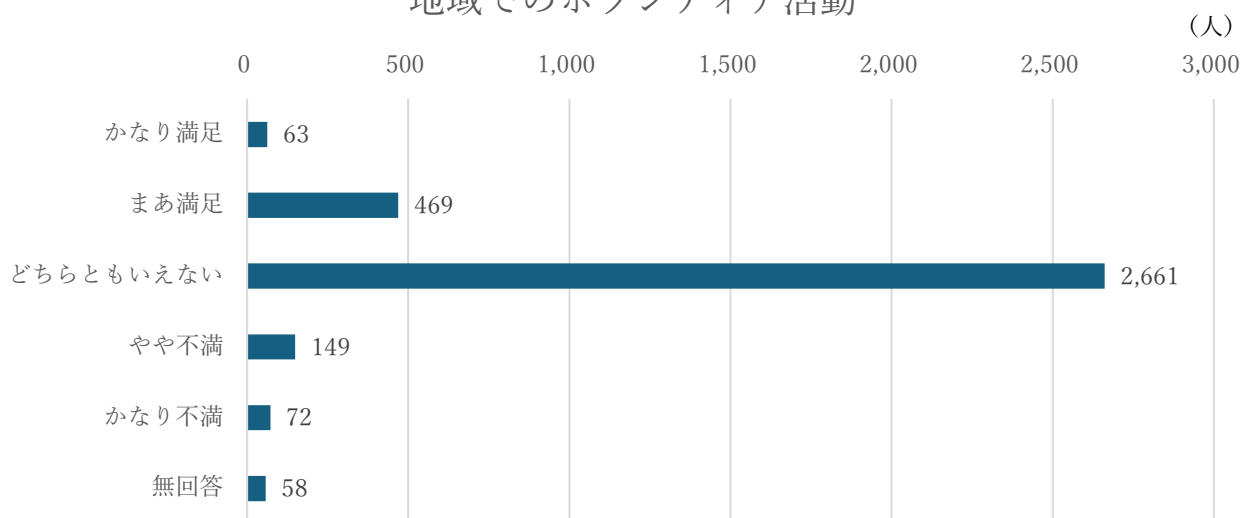
### 隣近所などとの付き合い



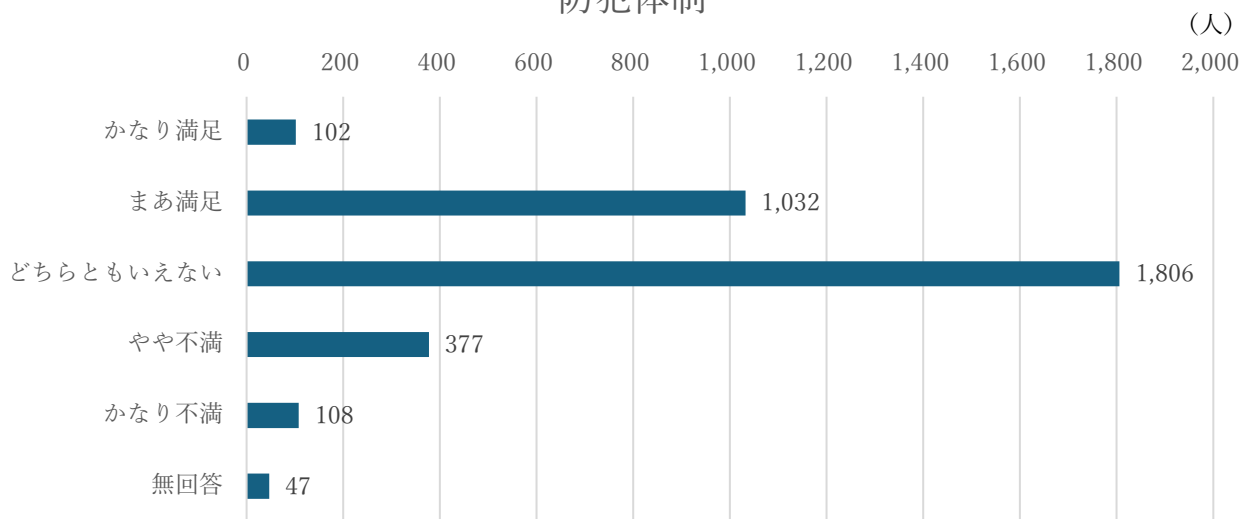
### 町内会・自治会の活動



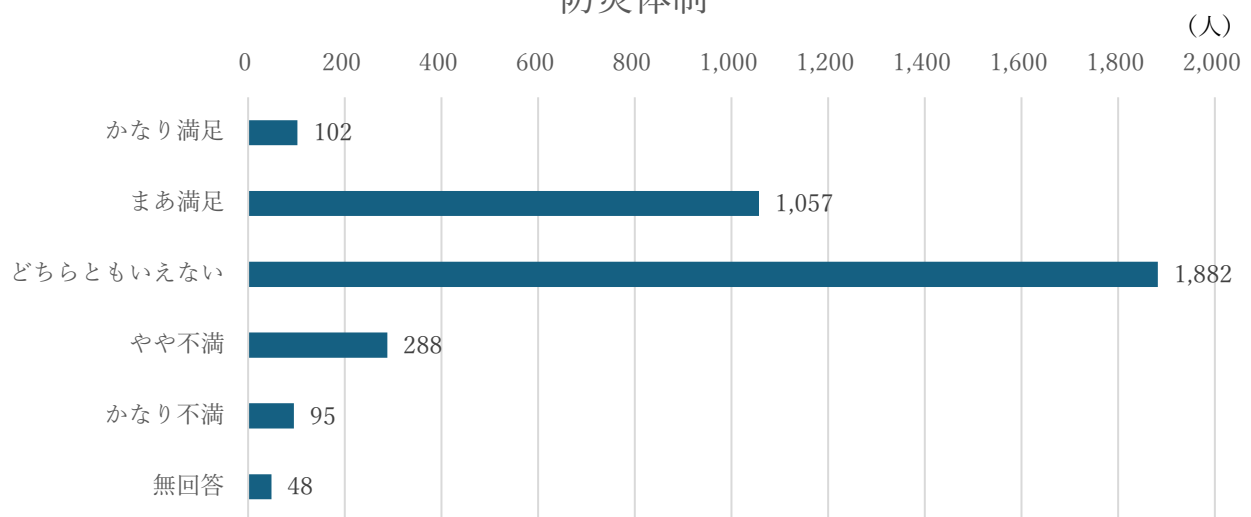
### 地域でのボランティア活動



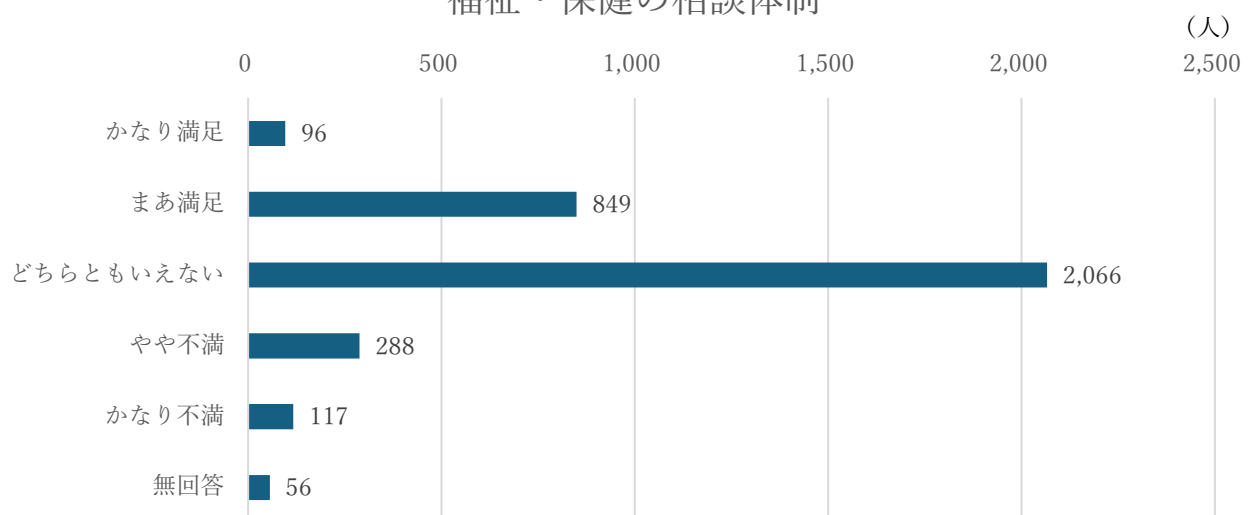
### 防犯体制

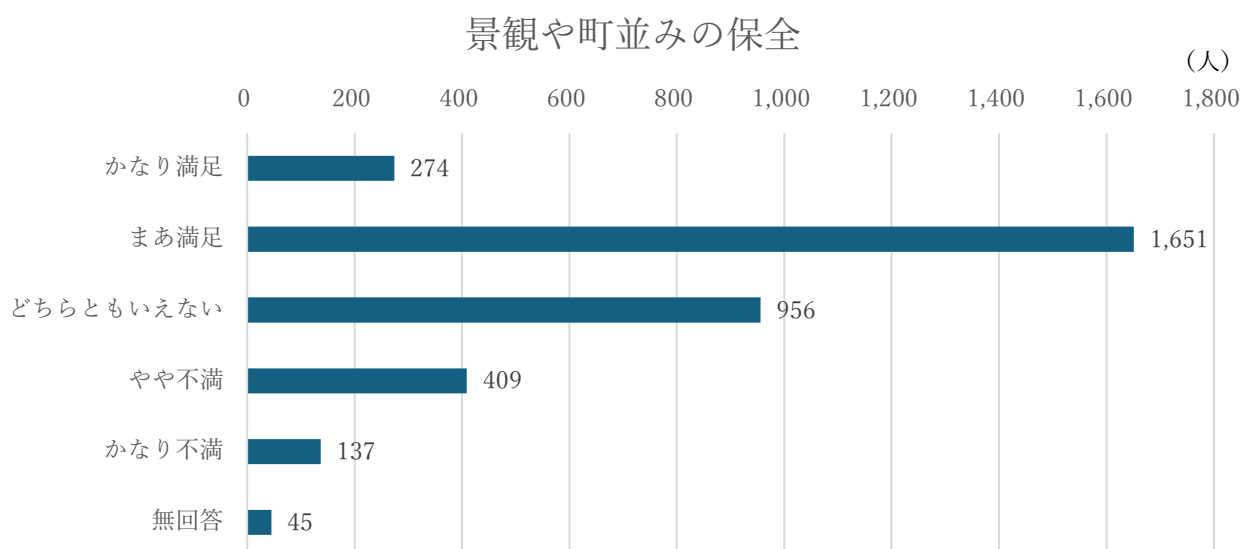
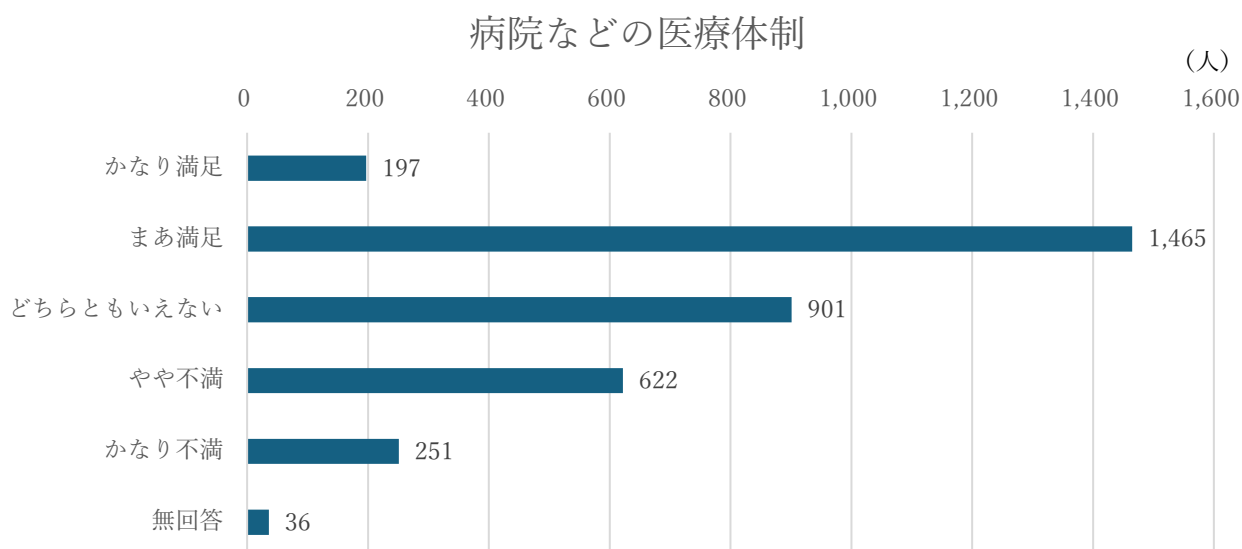


### 防災体制



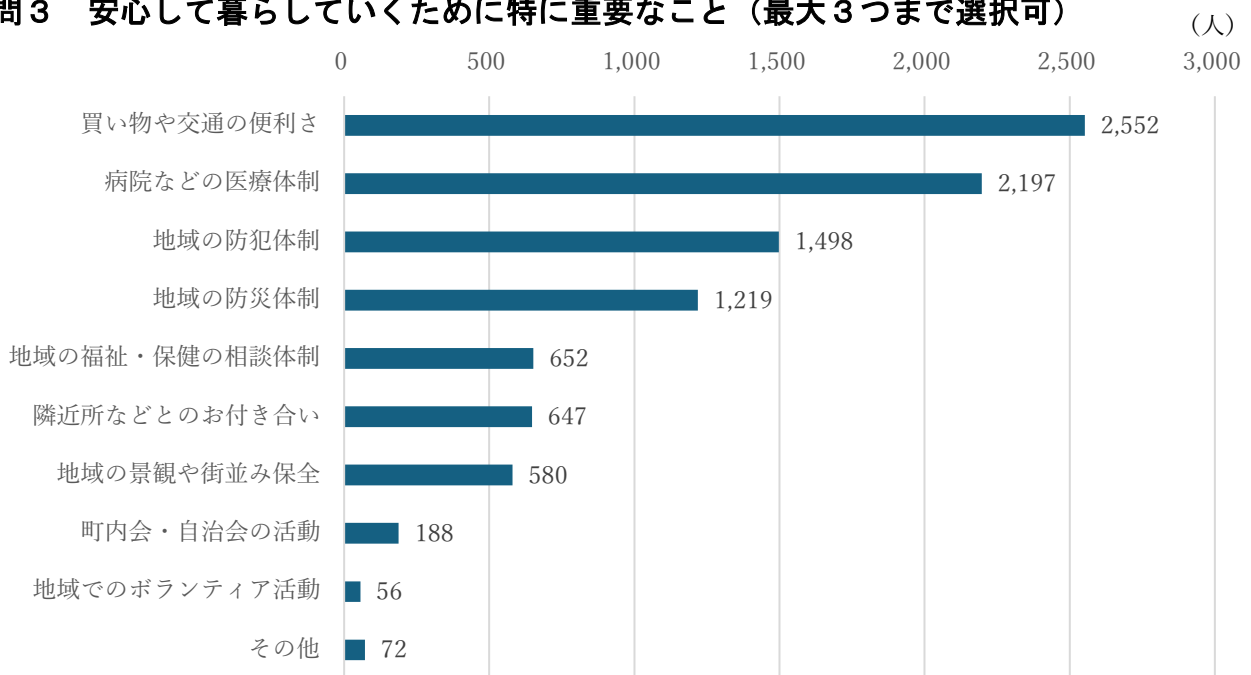
### 福祉・保健の相談体制





「かなり満足」、「まあ満足」の回答が最も多かった設問は「買い物や交通の利便性」であった。一方で「やや不満」、「かなり不満」の回答が最も多かった設問は「病院などの医療体制」であった。

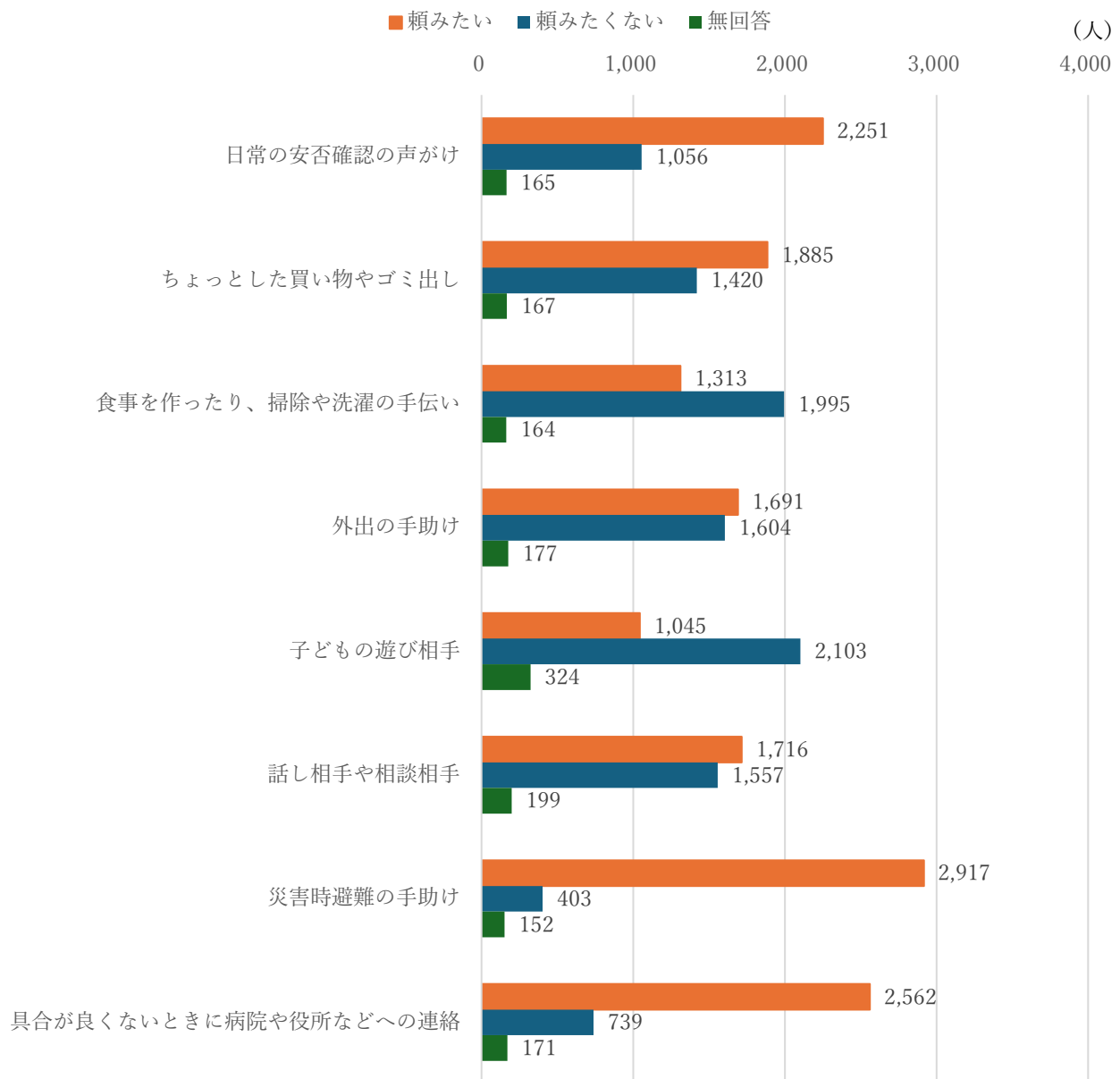
### 問3 安心して暮らしていくために特に重要なこと（最大3つまで選択可）



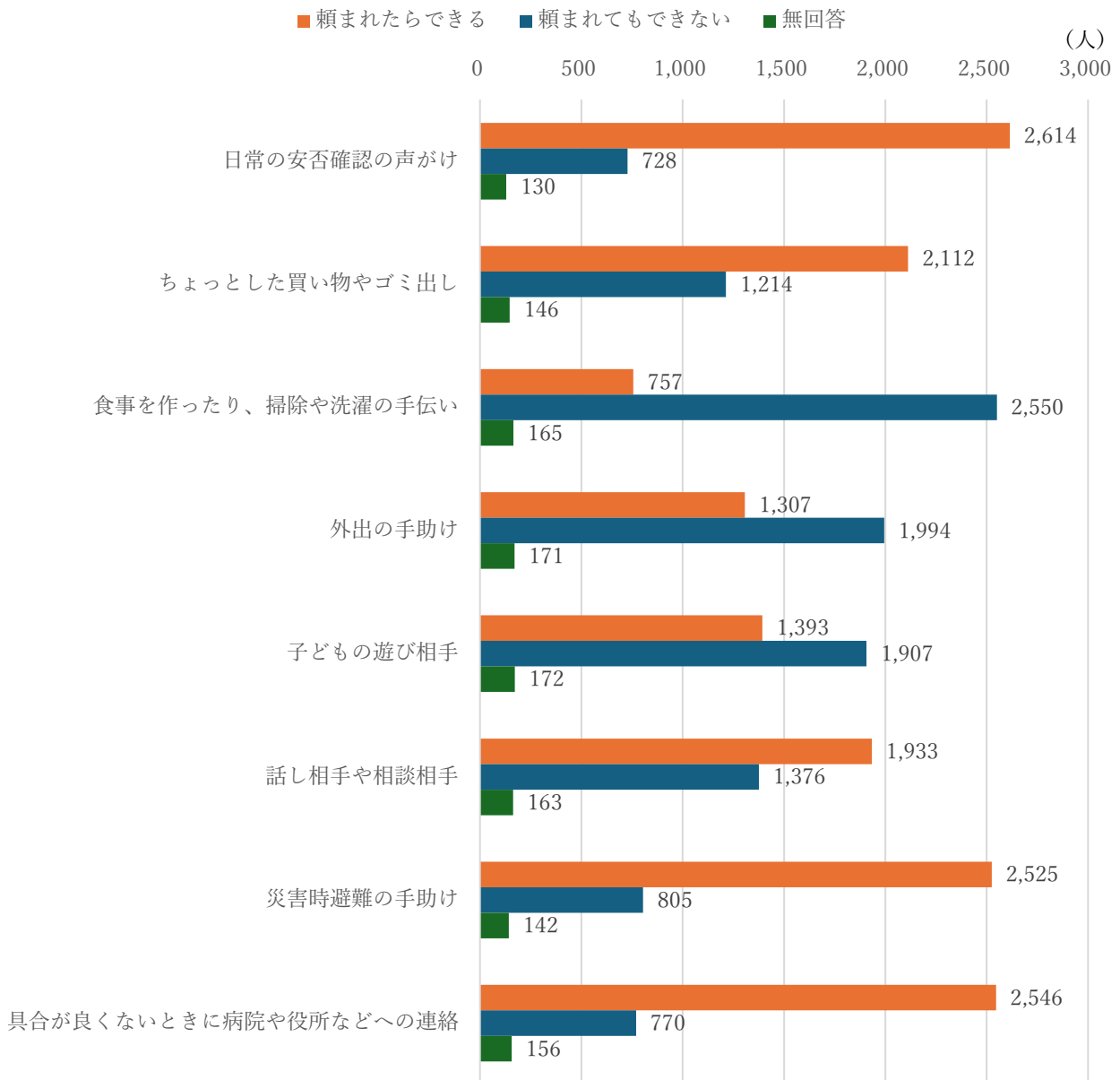
「買い物や交通の便利さ」、「病院などの医療体制」を回答した人が多い一方で、「町内会・自治会の活動」、「地域でのボランティア活動」と回答した人は少ない。



問4 日常生活（1つ選択）  
（1）頼みたい・頼みたくない



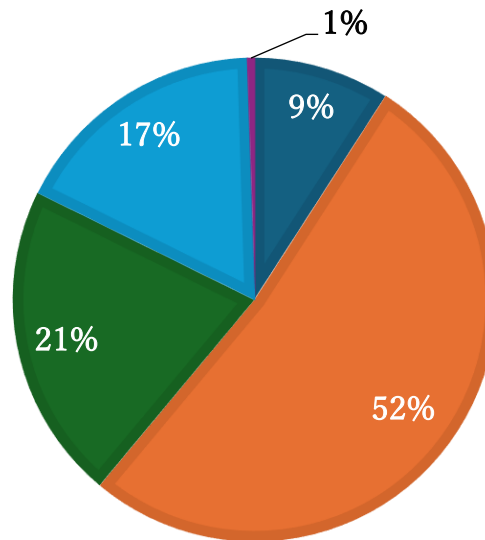
## (2) 頼まれたらできる・できない



半数の項目で、「頼まれたらできる」人が「頼みたい」人の数を上回っている。「頼みたい」人よりも「頼まれたらできる」人が少ない項目は、「食事作り・掃除洗濯の手伝い」、「外出の手助け」、「災害時の避難の手助け」、「具合が悪くないときの病院や市役所などへの連絡」であった。

### 問5 いざという時に信頼して相談できる人の人数（1つ選択）

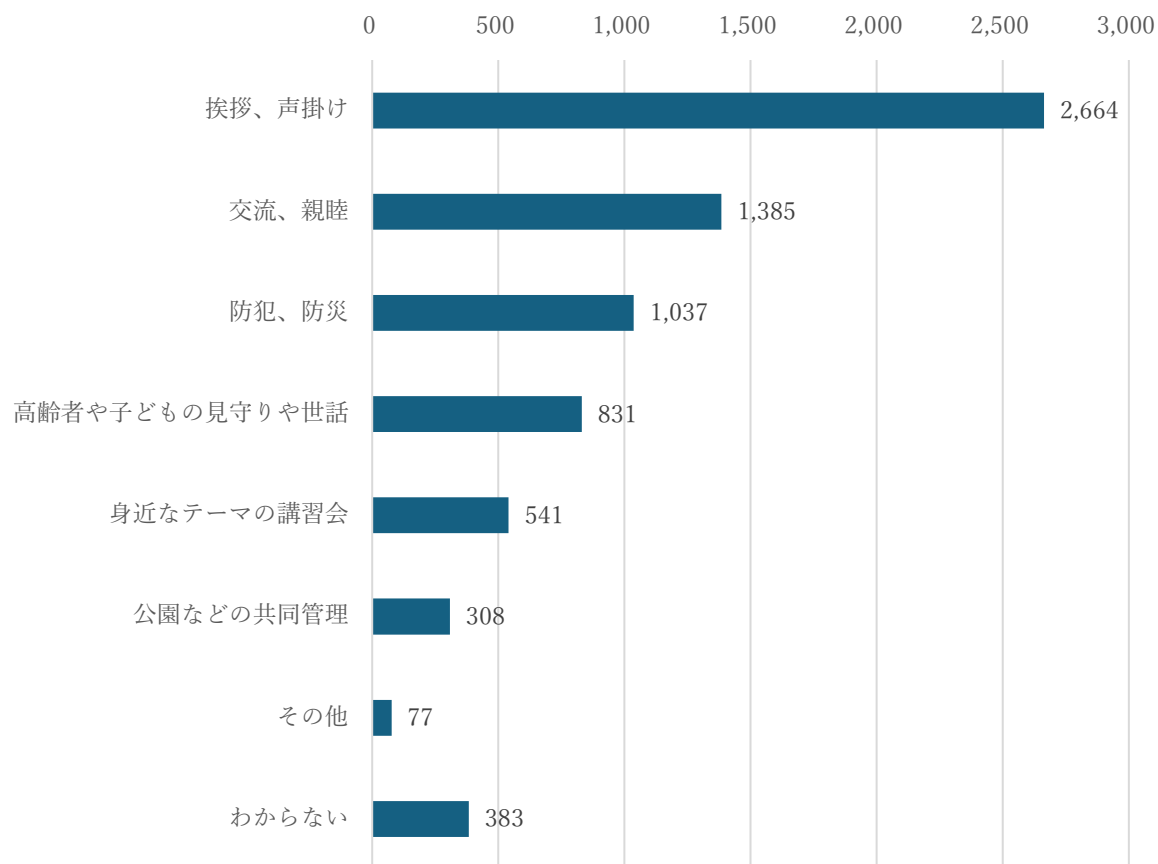
■5人以上いる ■1～4人いる ■一人もいない ■わからない ■無回答



2006 年度調査と比較すると、相談・信頼できる隣人がいる人が 7 割から 6 割に減少している。また、「一人もいない」、「わからない」が微増している。

問6 住民同士の信頼感や助け合い意識を高めるために効果的なこと  
(複数選択可)

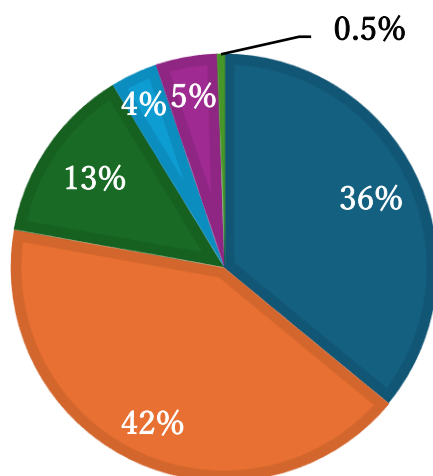
(人)



最も多い回答は、「あいさつや声を掛け合う」であり、「行事やサークル等、身近な交流や親睦の機会がある」、「防災や防犯など地域の問題の解決に、一緒に取り組む」、「地域の高齢者や子どもの見守り、お世話を一緒に行う」と続いた。2006 年度調査と比較すると、親睦志向が減り、実利志向が微増した。また、「わからない」が倍増した。

## 問 7 地域に対する愛着（１つ選択）

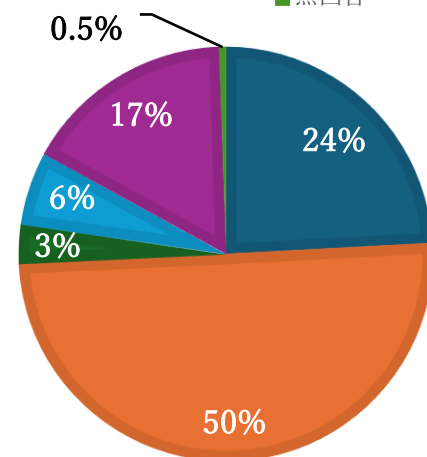
■ 感じている ■ やや感じている ■ あまり感じていない ■ 感じていない ■ わからない ■ 無回答



2006 年度調査では愛着を感じている割合が 6 割であったのに対し、本調査では 8 割弱に増加している。

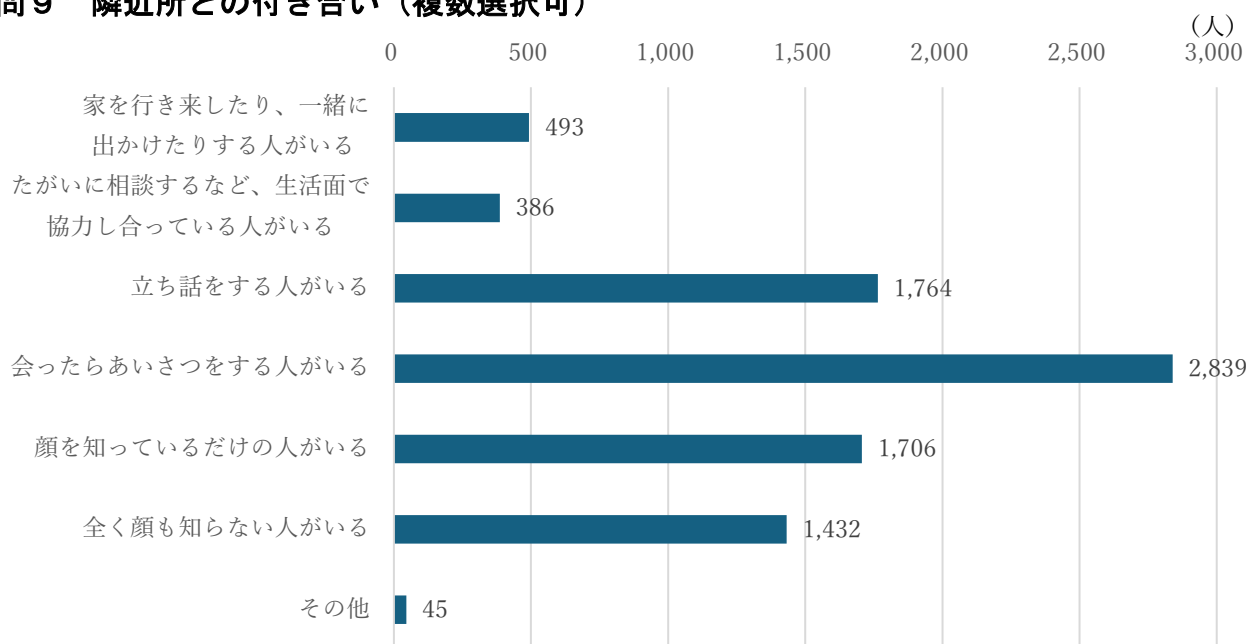
## 問 8 今後の居留意向（１つ選択）

■ ぜひ住み続けたい ■ できれば住み続けたい  
■ 町田市内の他の地域に住み替えたい ■ 町田市外に移りたい  
■ わからない ■ 無回答



2006 年度調査では 9 割以上の人が継続居住を望んでいたが、今回の調査では約 8 割に低下している。

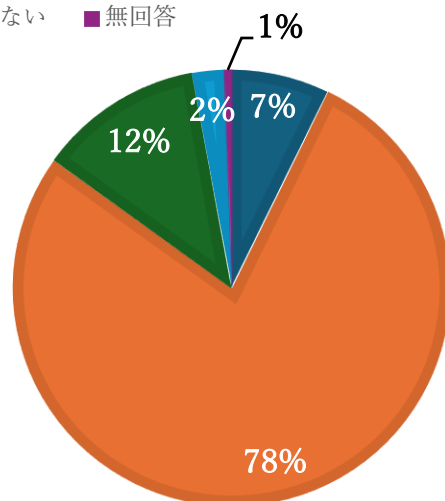
## 問 9 隣近所との付き合い（複数選択可）



「会ったらあいさつをする人がいる」が最も高く、「立ち話をする人がいる」、「顔を知っているだけの人がいる」が続いた。

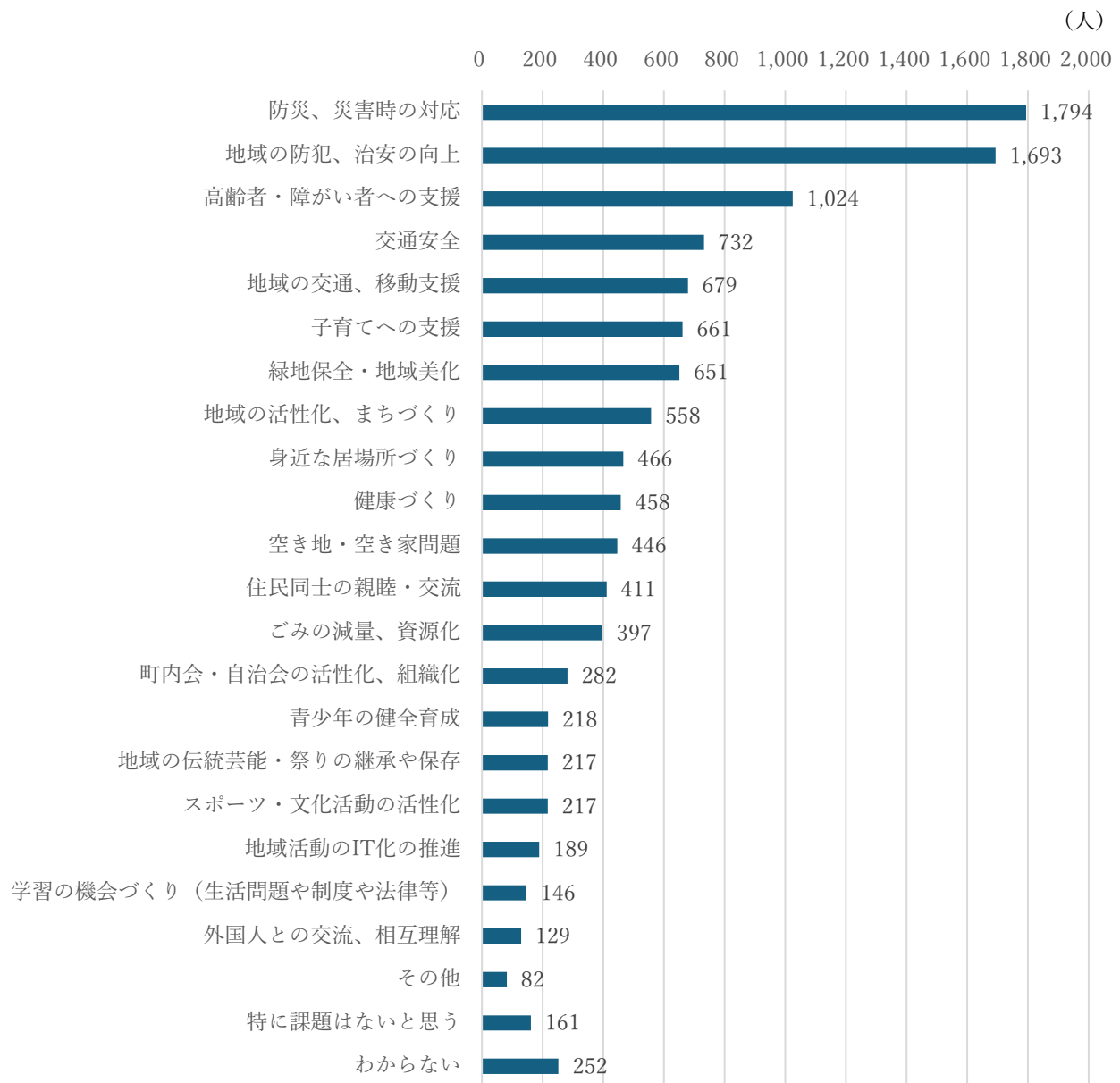
## 問 10 隣近所と今後の付き合い（1つ選択）

■積極的に付き合いたい   ■ほどほどに付き合いたい   ■あまり付き合いたくない  
 ■全く付き合いたくない   ■無回答



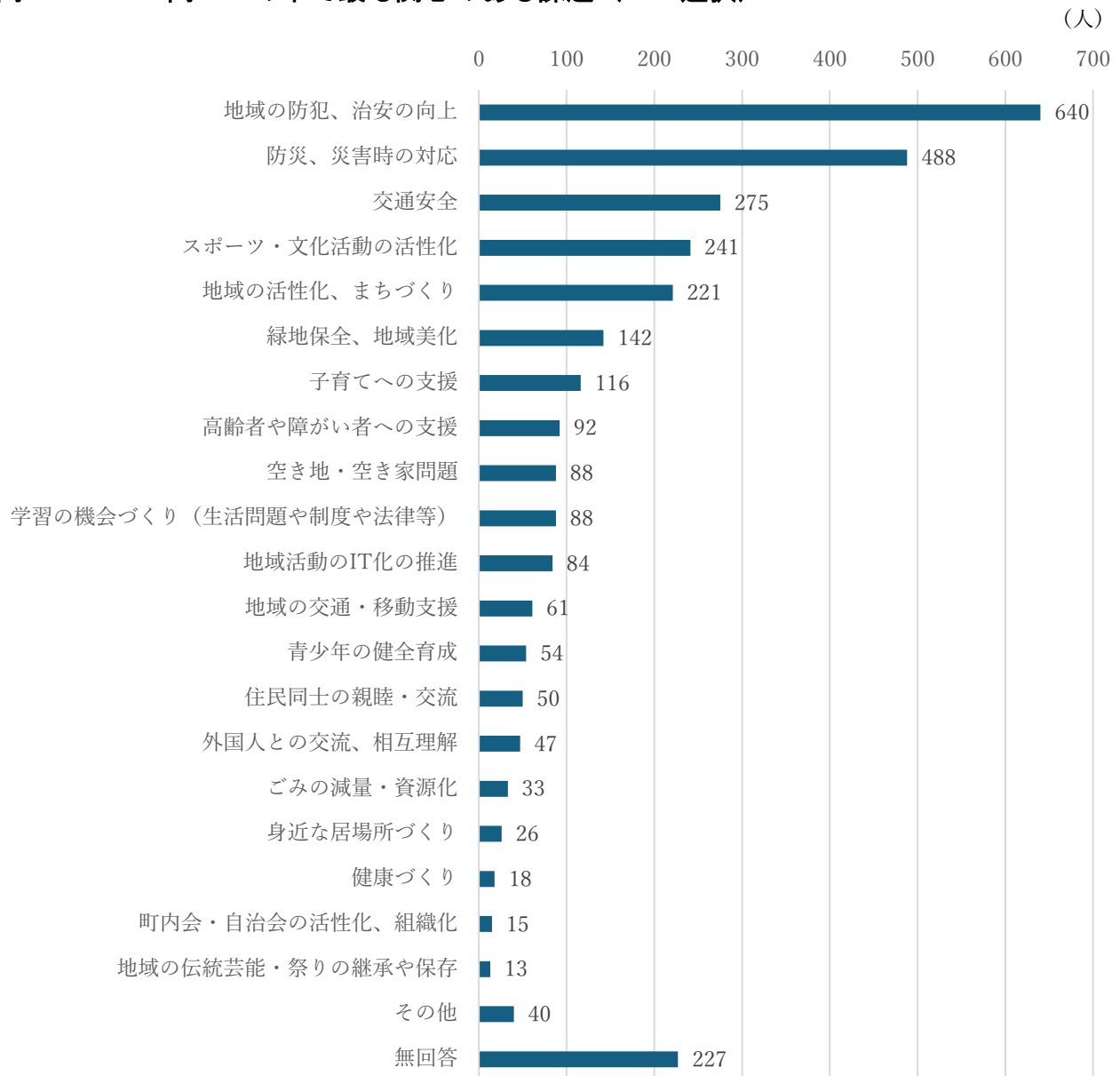
「ほどほどに付き合いたい」が78%で最も高かった。これは2006年度調査とほぼ同じ割合である。それ以外の選択肢を2006年度調査と比べると、「積極的に付き合いたい」が約4%減少し、「あまり付き合いたくない」が約5%増加している。

## 問 1 1 関心を持っている地域の課題（最大5つ選択可）



「防災、災害時の対応」、「地域の防犯、治安の向上」を選択した人が突出して多い。

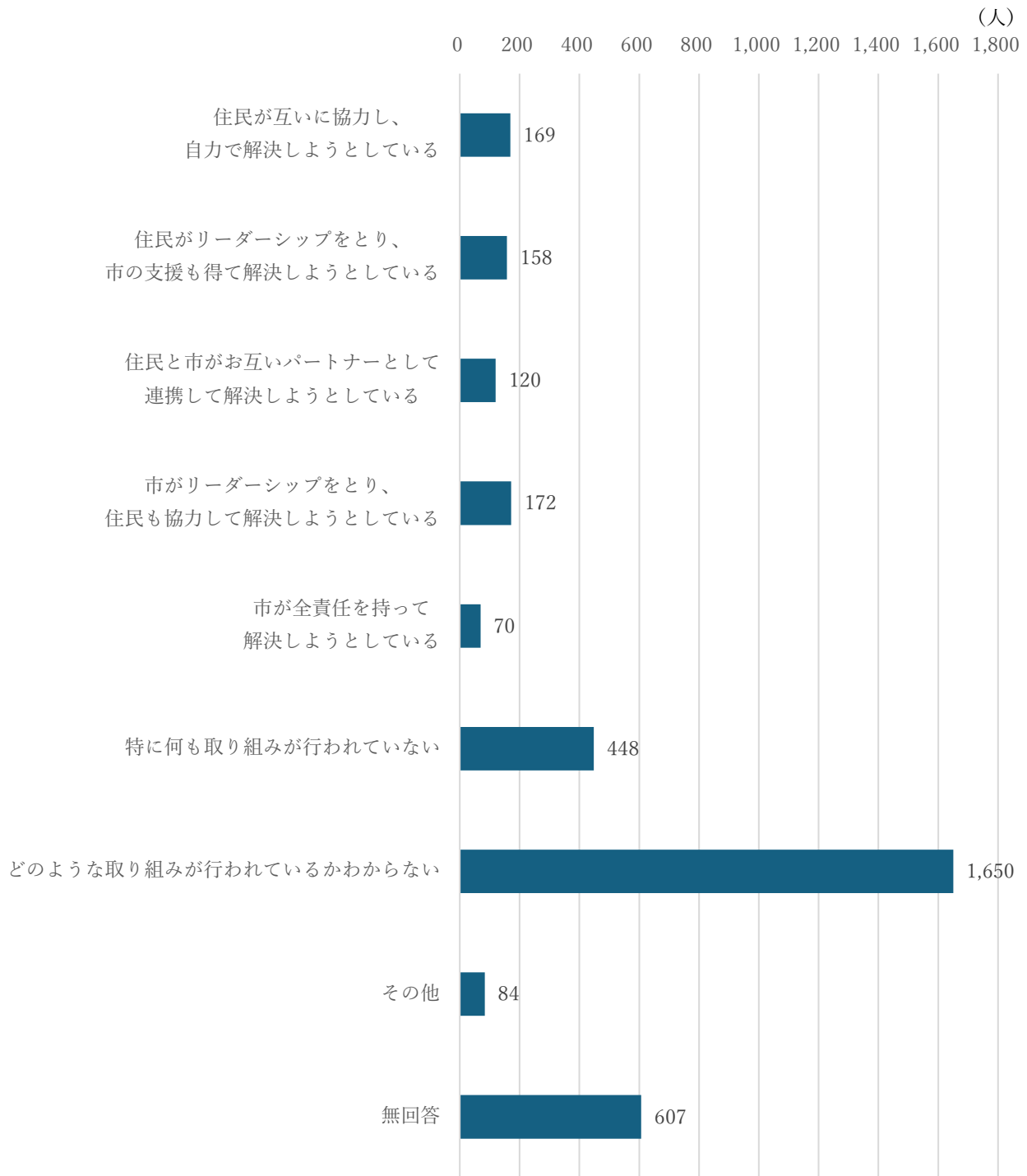
問 11-1 問 11の中で最も関心のある課題（1つ選択）



「地域の防犯、治安の向上」、「防災、災害時の対応」を選択した人が突出して多い。



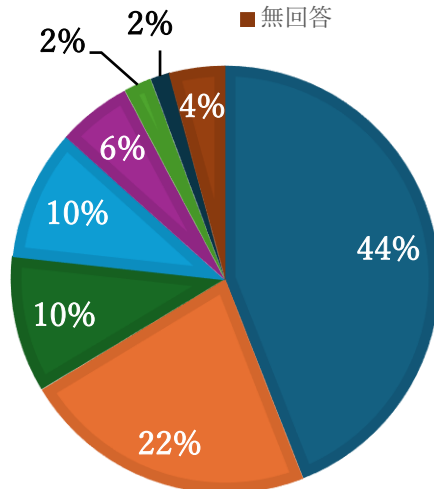
問 11-2 問 11-1 で選択した課題の解決に向けた取り組みがどのように行われているか（1つ選択）



約半数の人が「どのような取り組みが行われているかわからない」と回答した。

## 問 1 2 地域課題解決のために住民合意の形成を主導すべき組織（1つ選択）

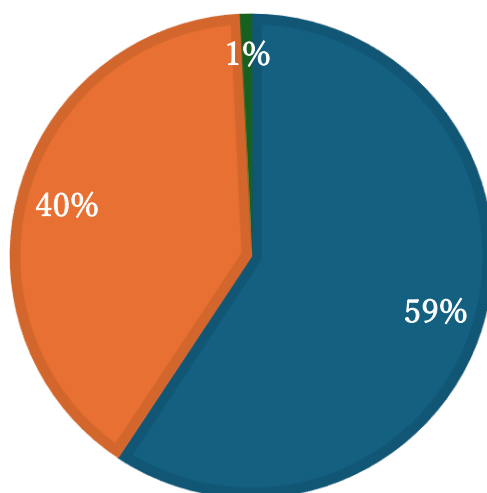
- 市などの行政機関
- 町内会・自治会
- 特定の課題解決を目的に結成した自由参加の住民組織
- 町内会・自治会や市民活動団体が集まった会議体
- 社会福祉協議会などの専門機関
- 各種の市民活動団体が集まった会議体
- その他の組織
- 無回答



「市などの行政機関」が 44%で最も高く、「町内会・自治会」が 22%で続く。2006 年度調査では、「市などの行政機関」が約 23%、「町内会・自治会」が約 37%であり、順位が逆転している。

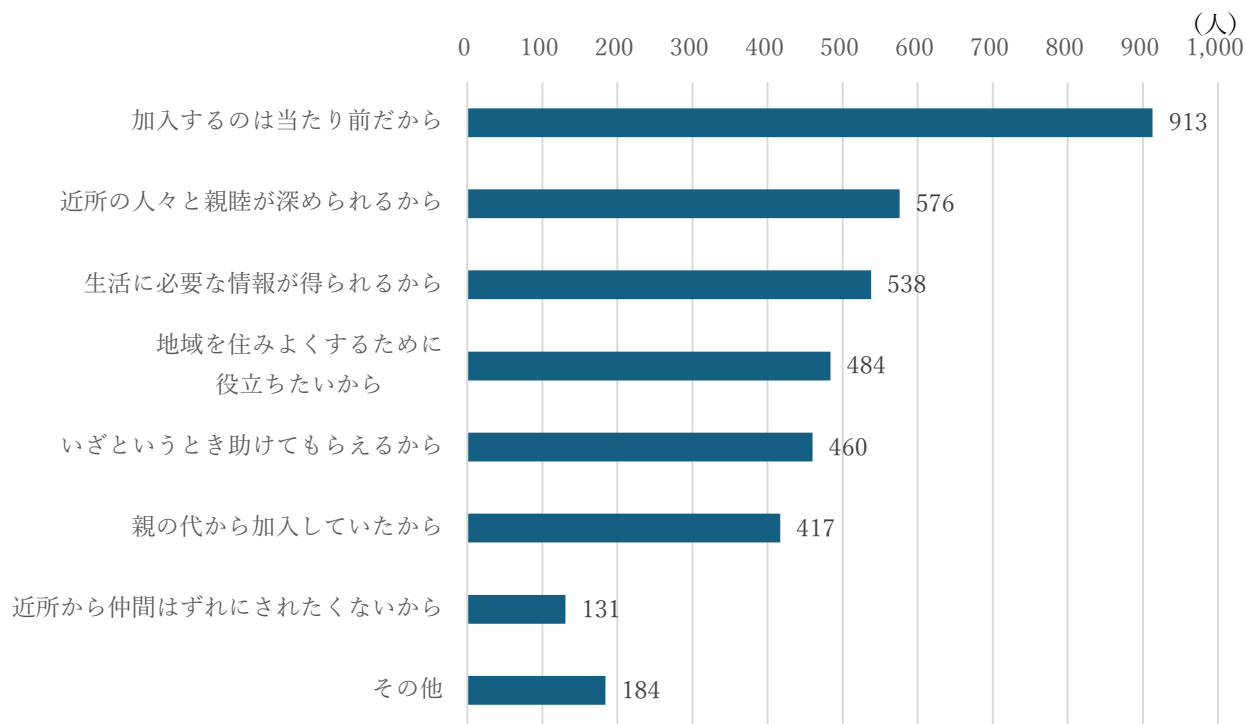
## 問 1 3 回答者が所属する世帯の町内会・自治会加入状況（1つ選択）

- 加入
- 未加入
- 無回答



2006 年度調査で「加入している」を選択した人は 79%だったが、本調査では 59%に低下した。

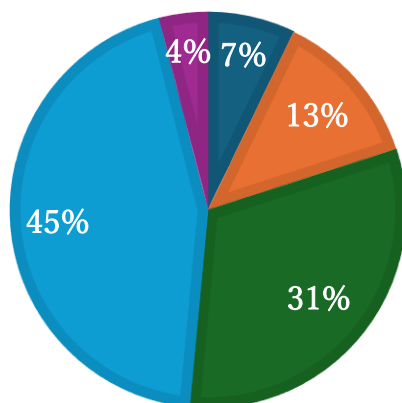
### 問 13-1 町内会・自治会の加入理由（複数選択可）



「加入をするのは当たり前だから」を選択した人が最も多く、ついで「近所の人々と親睦が深められるから」、「生活に必要な情報が得られるから」となっている。

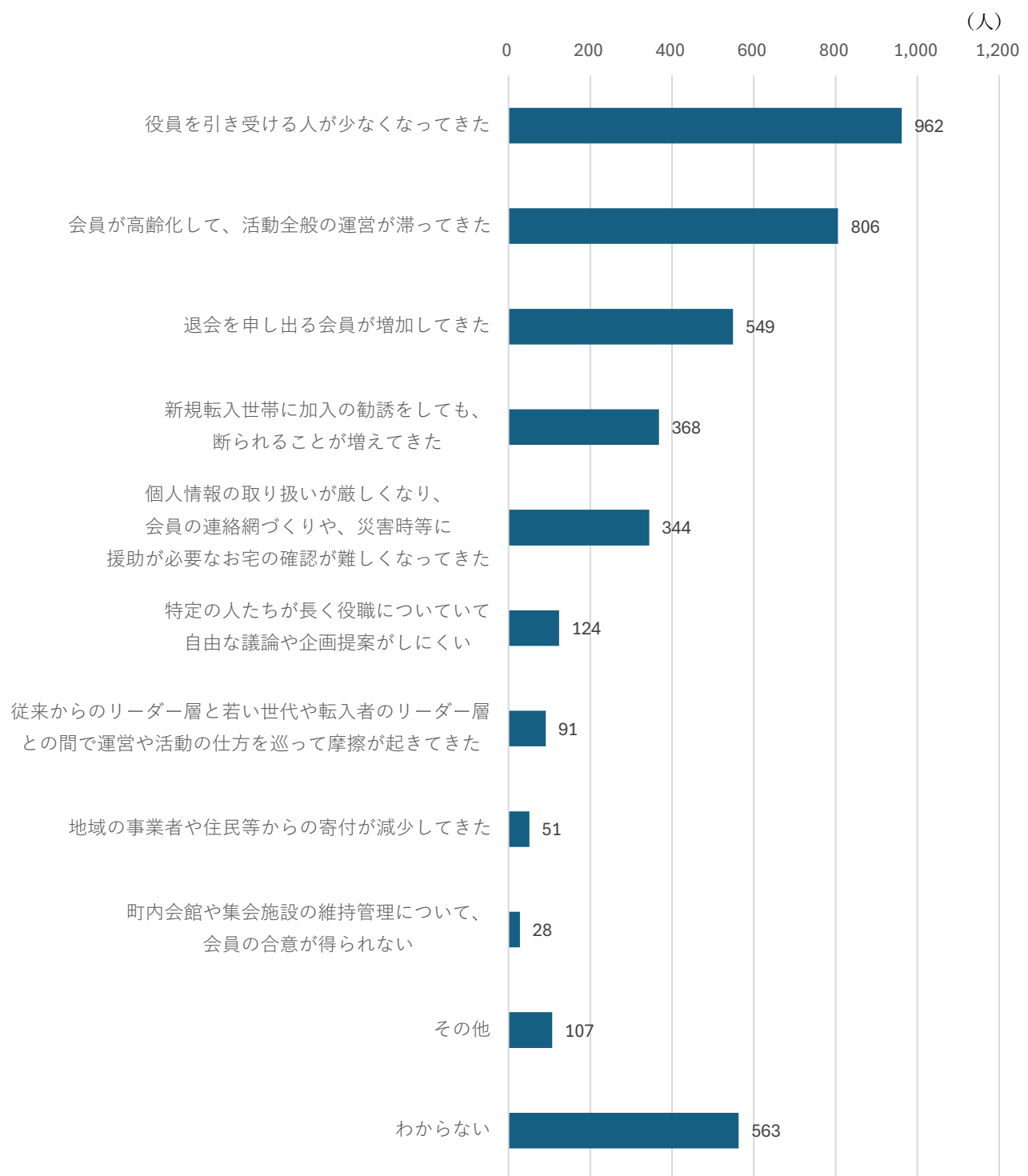
### 問 13-2 町内会・自治会の活動との関わり方（1つ選択）

- 組織の役員や活動のリーダー役をできるだけ引き受けて活動している
- 会合や行事などの際は、できるだけ手伝うようにしている
- 都合がつくときは、行事や総会などに顔を出すようにしている
- 会合や活動には、ほとんど参加していない
- 無回答



2006 年度調査と比較すると「会合や活動には、ほとんど参加していない」と答えた人が約 9%増加している。

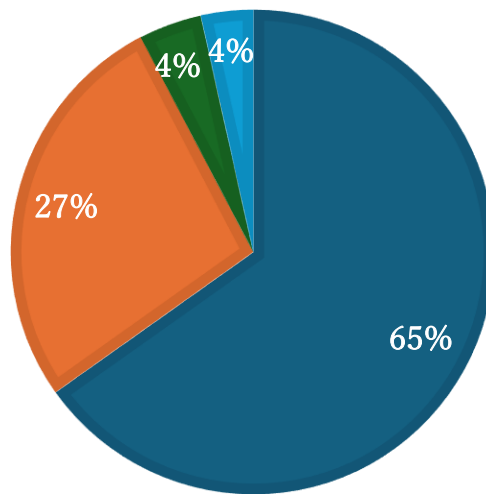
### 問 13-3 加入している町内会・自治会の活動課題（複数選択可）



「役員を引き受ける人が少なくなってきた」を選択した人が最も多く、ついで「高齢化して、活動全般の運営が滞ってきた」、「退会を申し出る会員が増加してきた」が続く。

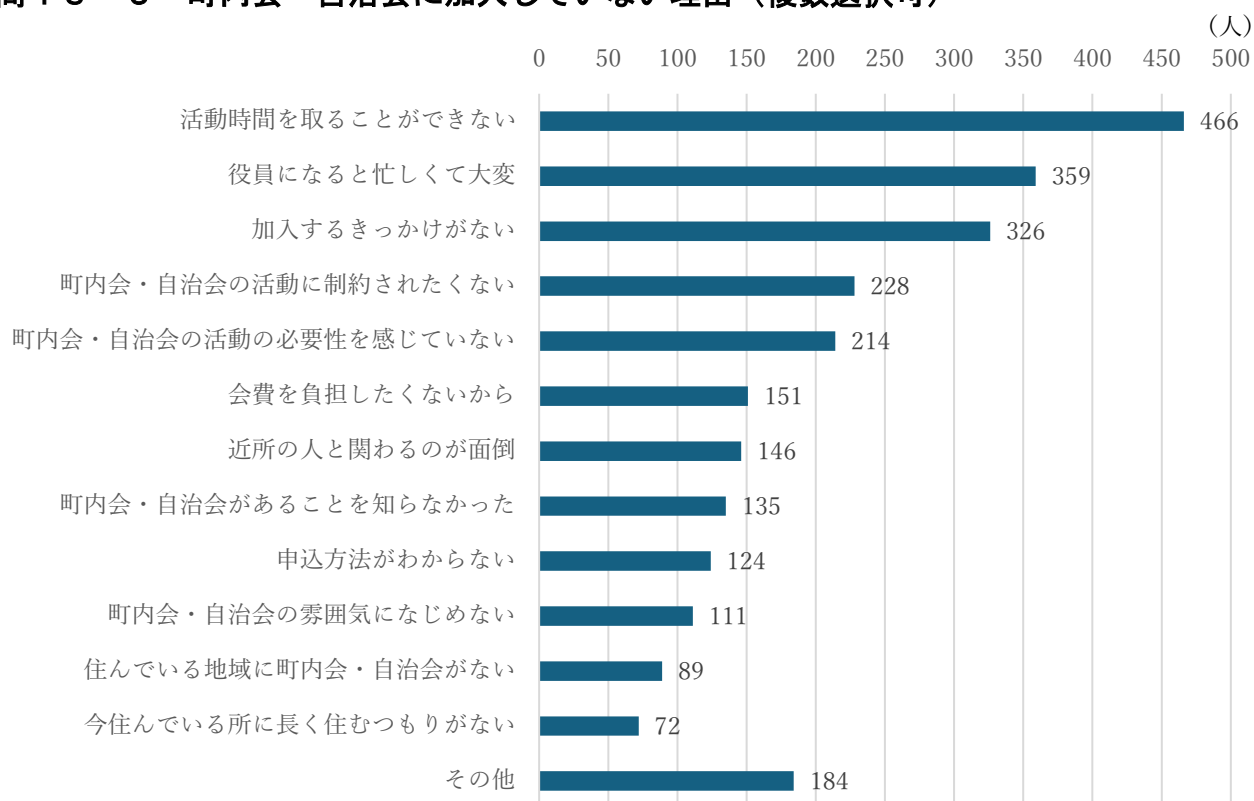
#### 問 13-4 現在町内会・自治会へ加入していない方の加入歴（1つ選択）

■一度も加入したことはない ■加入していたが、退会した ■その他 ■無回答



問 13 で「加入していない」を選択した人の中で「加入していたが、退会した」を選択した人が約 27%いる。

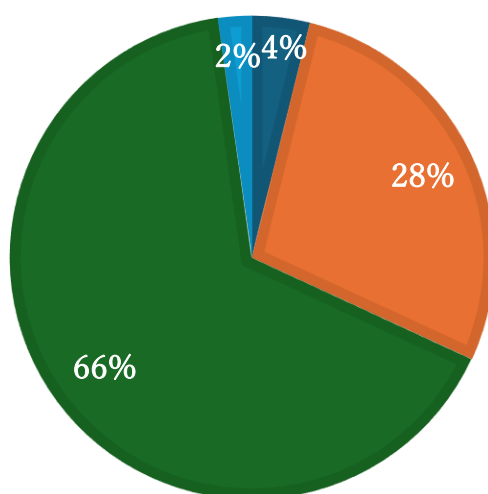
### 問 13-5 町内会・自治会に加入していない理由（複数選択可）



加入していない主な理由は「活動時間を取ることができないから」、「役員になると忙しくて大変だから」、「加入するきっかけがないから」である。

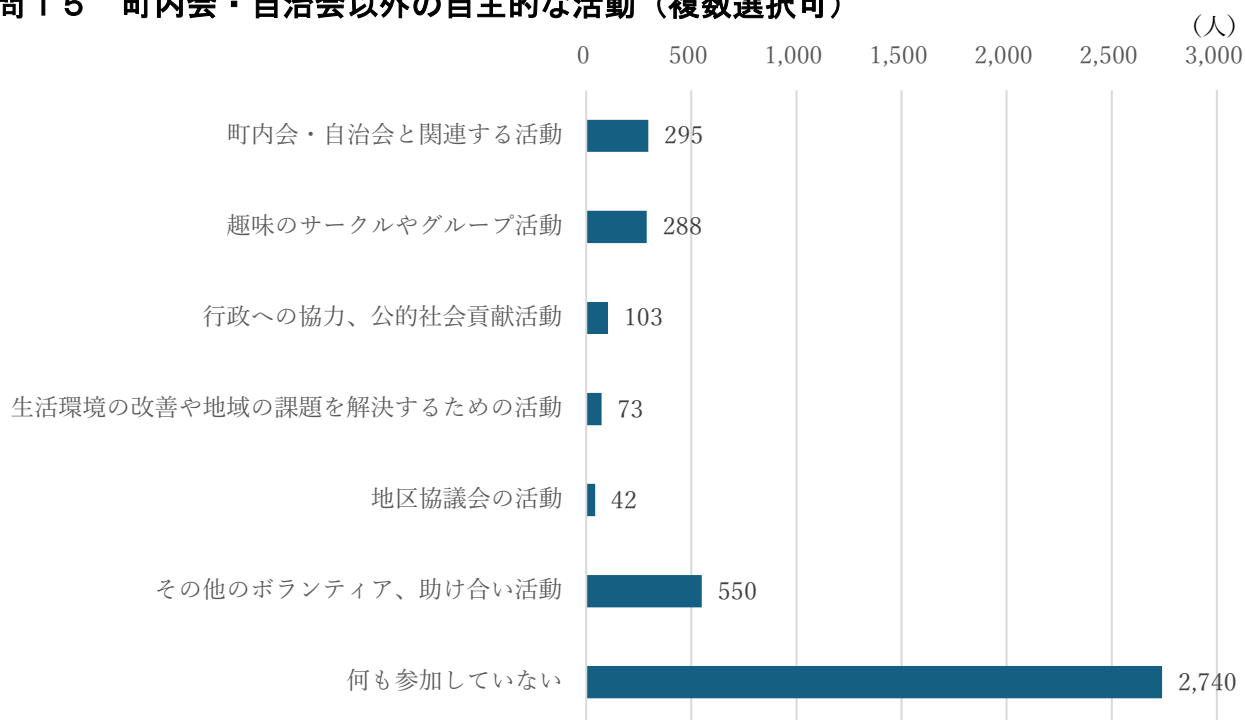
### 問 14 地区協議会の認知度（1つ選択）

■ 内容まで含めて知っている ■ 名前は知っている ■ 知らない ■ 無回答



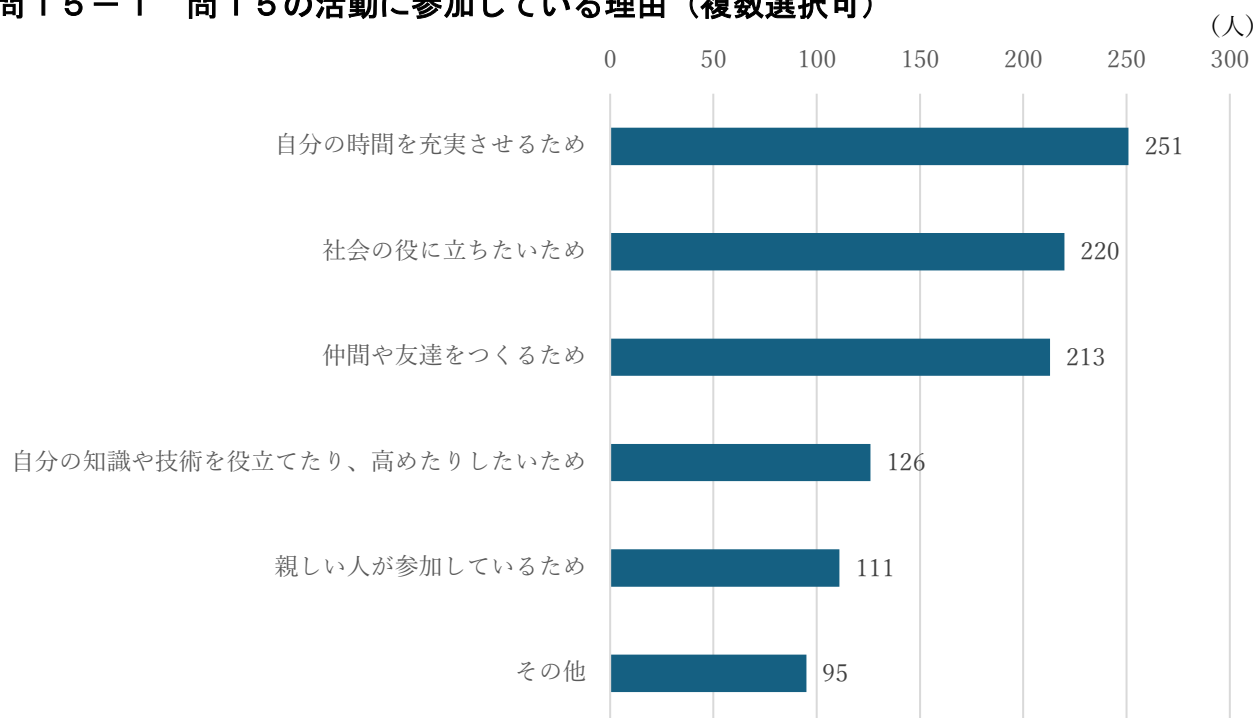
地区協議会を「内容まで含めて知っている」、「名前は知っている」を合わせると約32%であった。

### 問 15 町内会・自治会以外の自主的な活動（複数選択可）



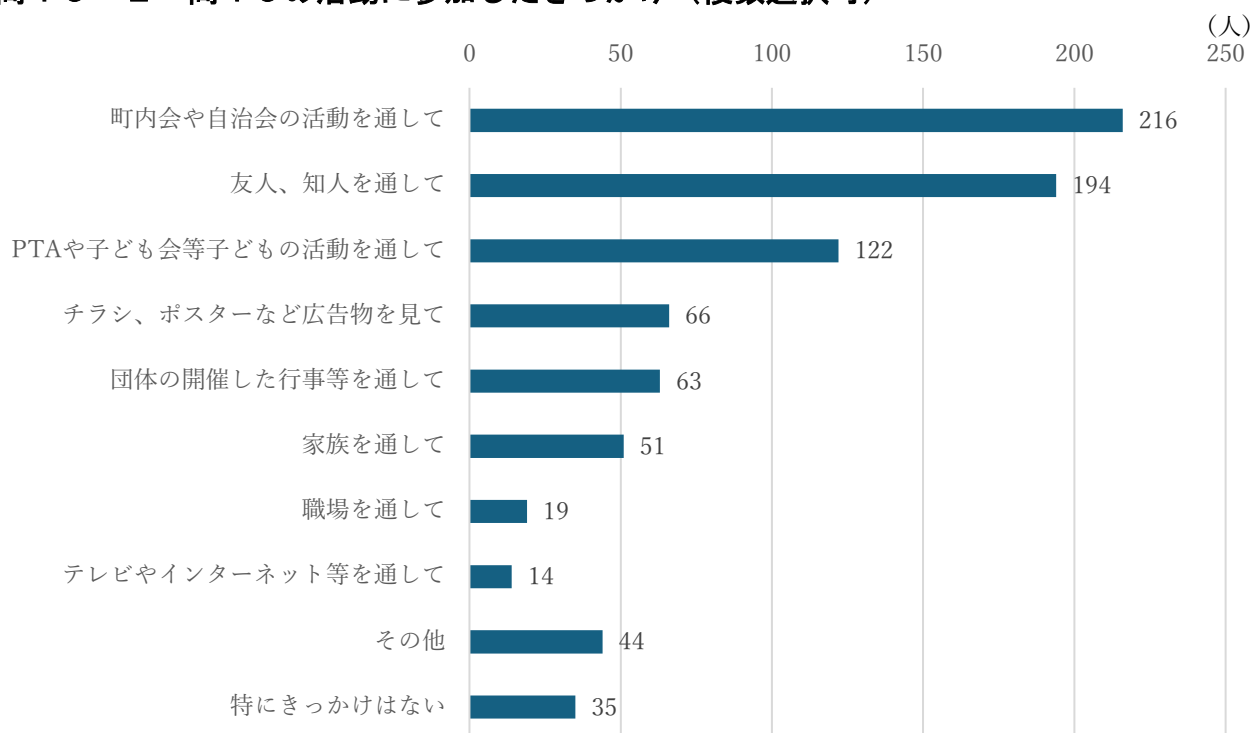
2006 年度調査と比較して活動している人がすべての分野で減少し、活動していない人が増えている。「何も参加していない」と答えた人は約 8 割にも及ぶ。

### 問 15-1 問 15 の活動に参加している理由（複数選択可）



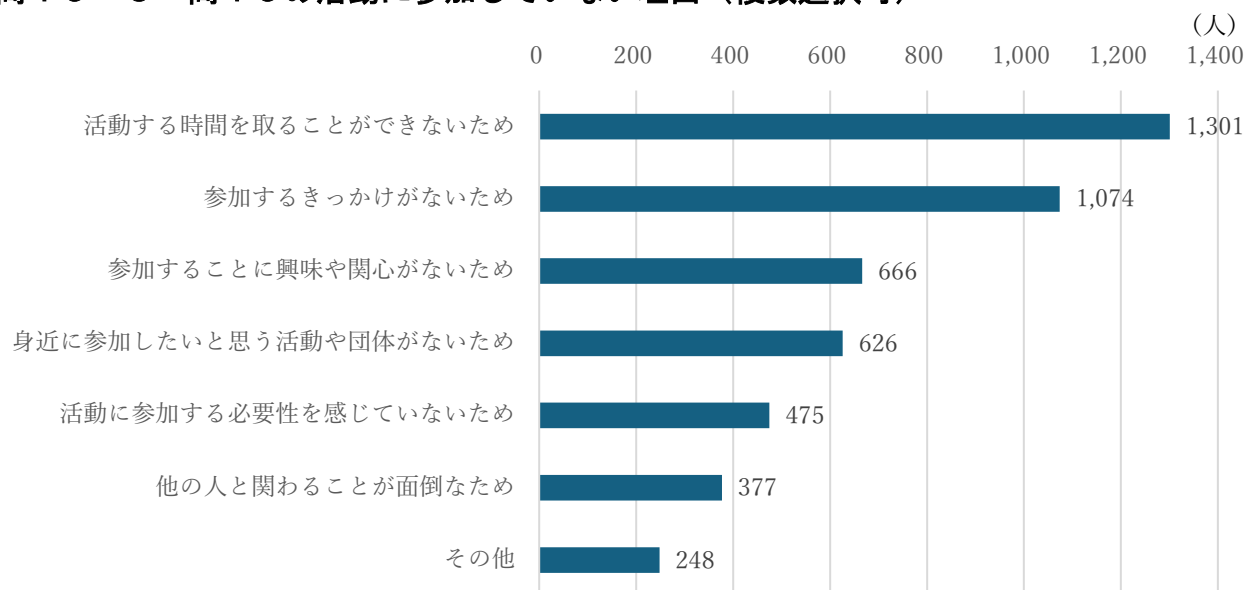
2006 年度調査と比較すると、「社会の役に立ちたい」と回答した人が減少した一方で、「親しい人がやっているから」と回答した人が増加した。

### 問 15-2 問 15 の活動に参加したきっかけ（複数選択可）



「町内会や自治会の活動を通して」のほかに、「友人、知人を通して」と選択した人が多い。

### 問 15-3 問 15 の活動に参加していない理由（複数選択可）

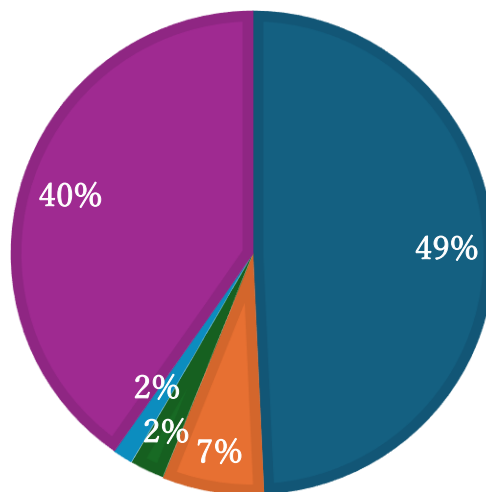


活動に参加していない主な理由としては、「活動する時間を取ることができないため」、「参加するきっかけがないため」が多い。



## 問 16 参加している活動の団体数（1つ選択）

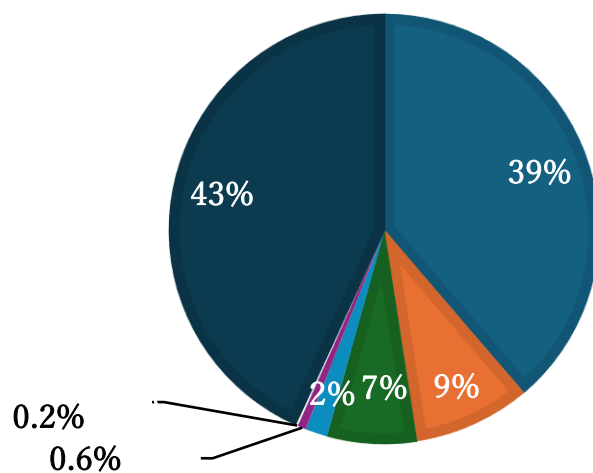
■ 1つ ■ 2つ ■ 3つ ■ 4つ以上 ■ 無回答



「1つ」と答えた人が約5割、「2つ以上」の割合は約1割だった。

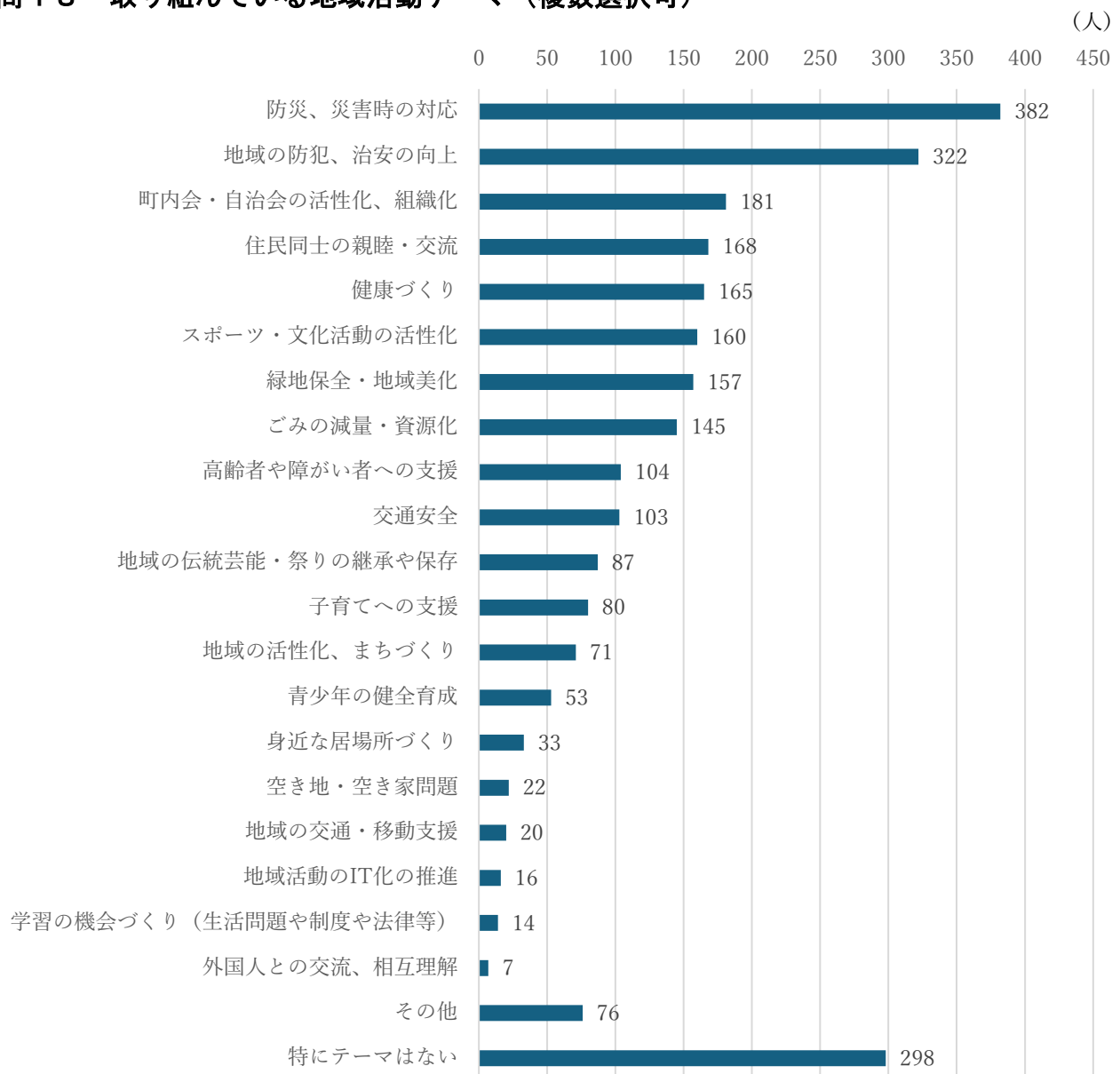
## 問 17 地域活動に参加している時間（1週間あたり）（1つ選択）

■ 1時間未満 ■ 1～2時間程度 ■ 3～5時間程度 ■ 6～10時間程度 ■ 11～20時間程度 ■ 20時間以上 ■ 無回答



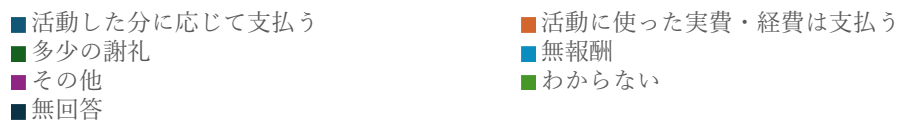
2006 年度調査と比較して、活動時間の短い人が増加する一方で、活動時間が長い人が減少している。

# 問 18 取り組んでいる地域活動テーマ（複数選択可）



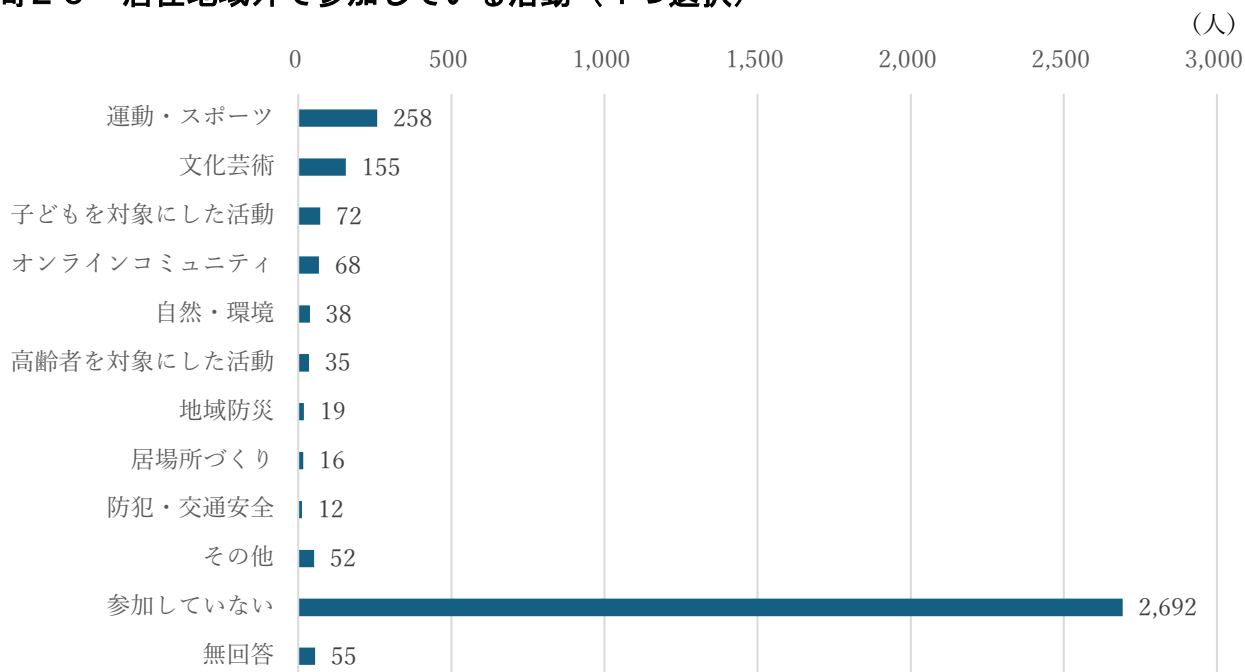
「防災、災害時の対応」、「地域の防犯、治安の向上」に取り組んでいる人が多い。

## 問 19 地域活動の報酬に対する考え（1つ選択）



「無報酬であるべきだ」と回答した人は 2006 年度調査では約 30%であったのに対して、本調査では約 12%と減少している。また、「活動した分に応じて支払う」と回答した人は、2006 年度調査では約 5%であったのに対して、本調査では約 15%と増加している。

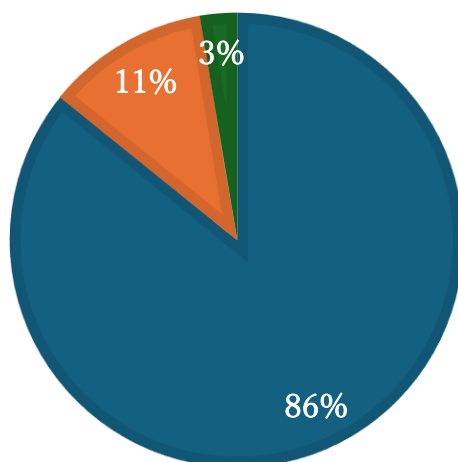
## 問 20 居住地域外で参加している活動（1つ選択）



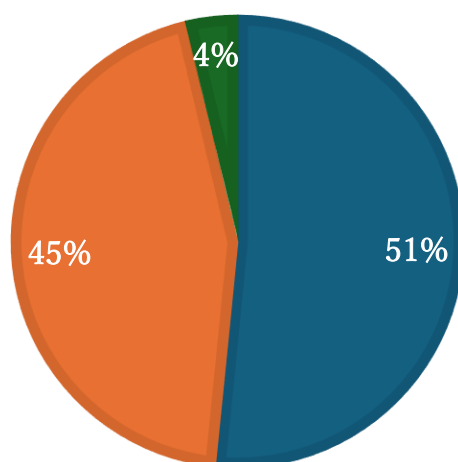
参加していないという回答は約 8 割で 2006 年度調査と比較すると微増した。地域外の活動をしている人の中では、「スポーツ」が最も多く、それに続いて「文化芸術」、「子どもを対象にした活動」、「オンラインコミュニティ」となっている。

問 2 1 自主的な活動に利用できる施設の認知度、利用歴、利用意向（1つ選択）  
 （1）市民センター、コミュニティセンター

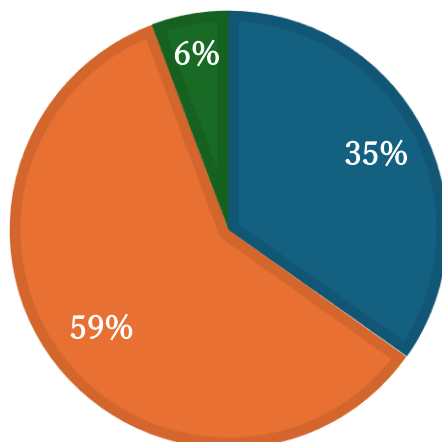
■知っている ■知らない ■無回答



■使用したことがある ■利用したことはない ■無回答

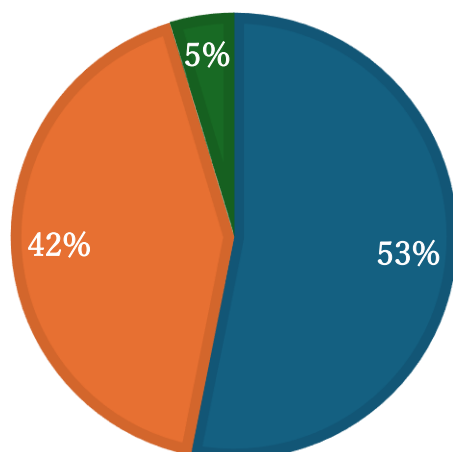


■もっと活用したい ■わからない ■無回答

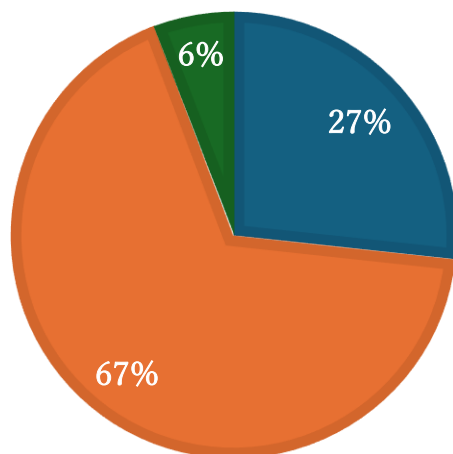


## (2) 子どもセンター、青少年施設

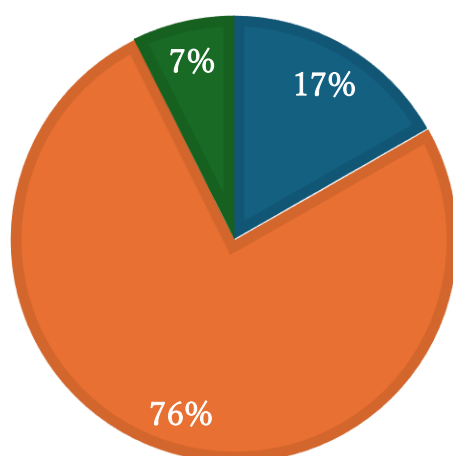
■知っている ■知らない ■無回答



■使用したことがある ■利用したことはない ■無回答

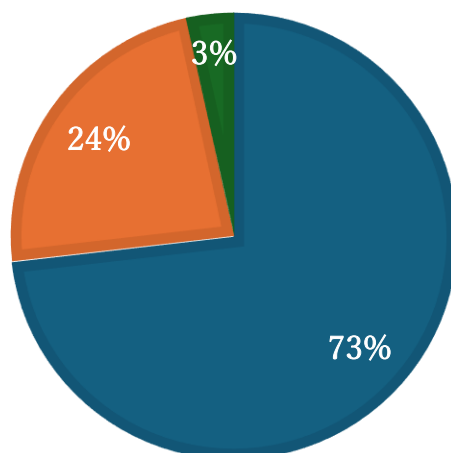


■もっと活用したい ■わからない ■無回答

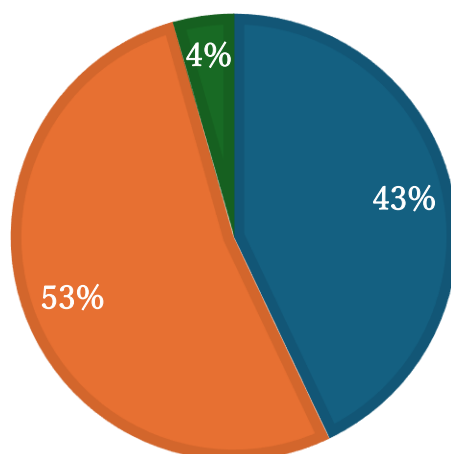


### (3) 集会所、町内会館

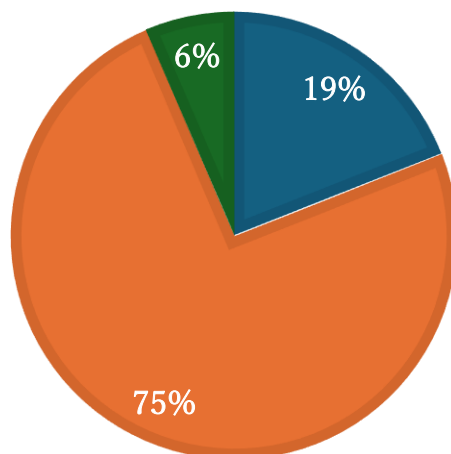
■知っている ■知らない ■無回答



■使用したことがある ■利用したことはない ■無回答

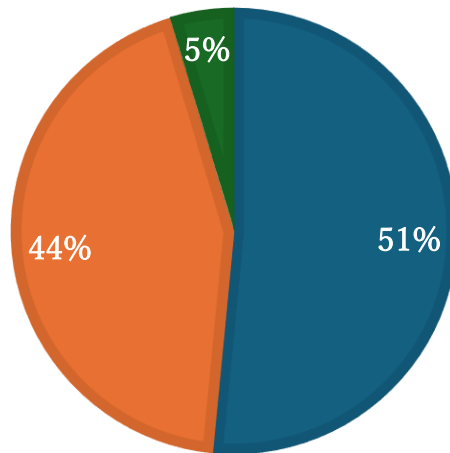


■もっと活用したい ■わからない ■無回答

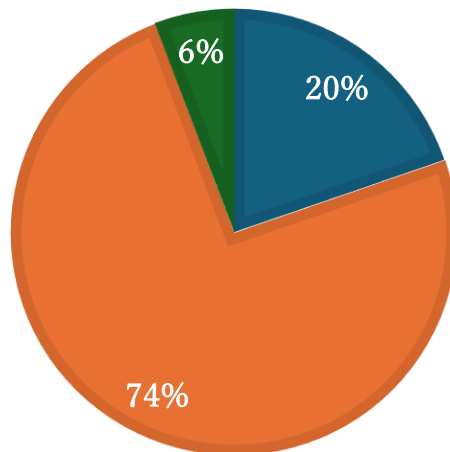


#### (4) 小中学校の学校開放

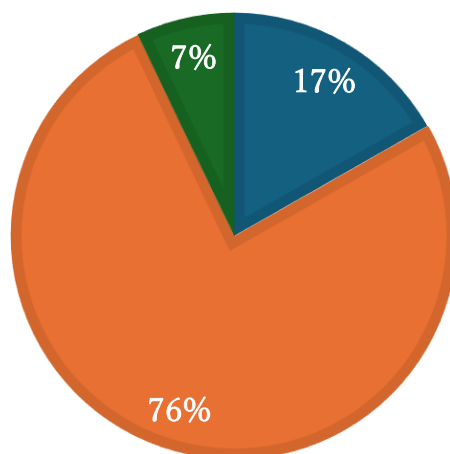
■知っている ■知らない ■無回答



■使用したことがある ■利用したことはない ■無回答

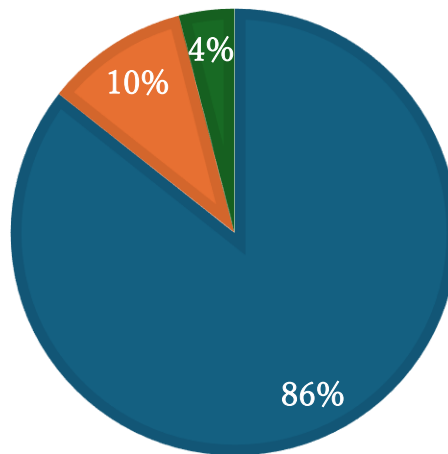


■もっと活用したい ■わからない ■無回答

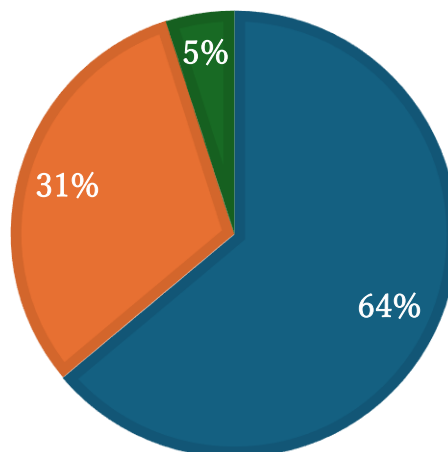


## (5) 公園、広場

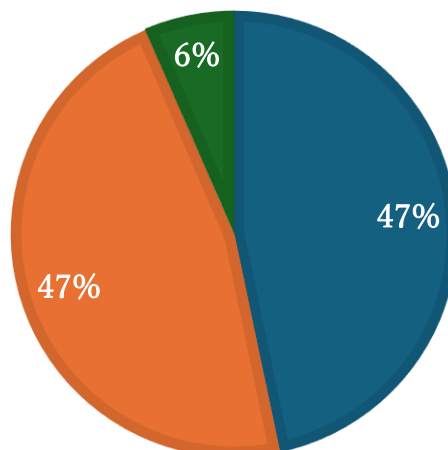
■知っている ■知らない ■無回答



■使用したことがある ■利用したことはない ■無回答



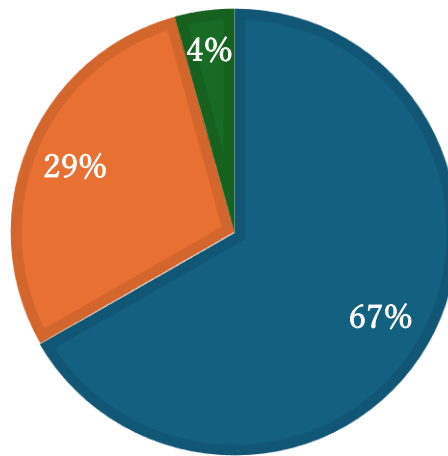
■もっと活用したい ■わからない ■無回答



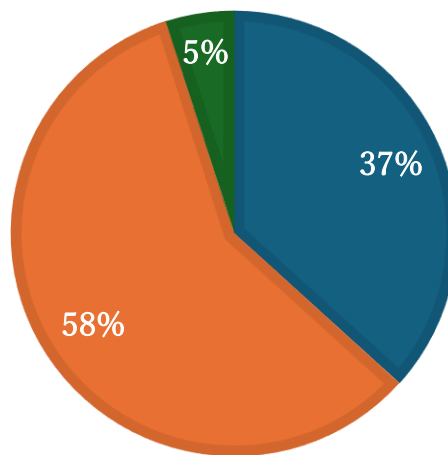


## (6) 公営のスポーツ施設

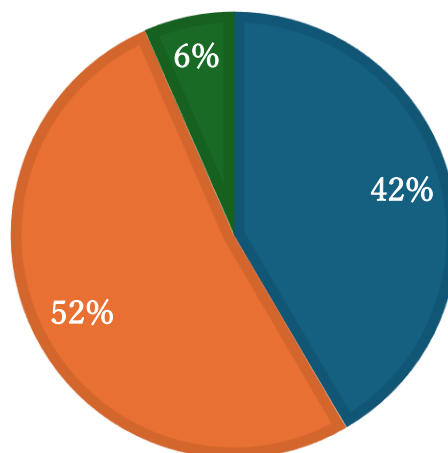
■知っている ■知らない ■無回答



■使用したことがある ■利用したことはない ■無回答

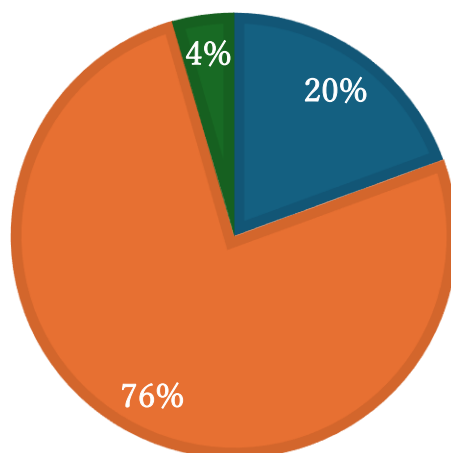


■もっと活用したい ■わからない ■無回答

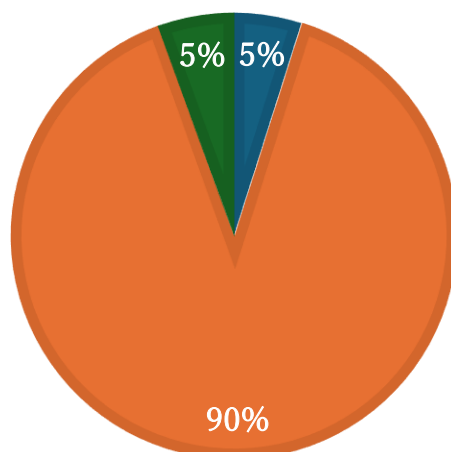


(7) 民間の事業が地域に提供している集会所やコミュニティカフェ  
(カフェ形式の居場所のこと)

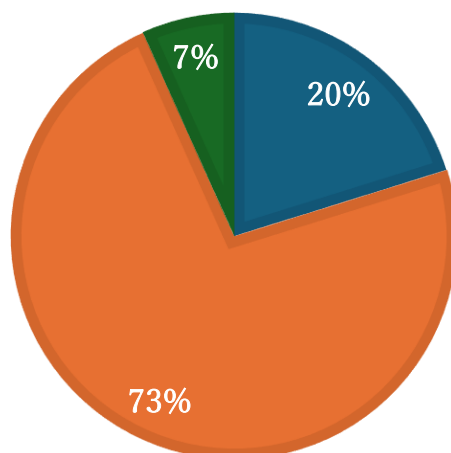
■知っている ■知らない ■無回答



■使用したことがある ■利用したことはない ■無回答

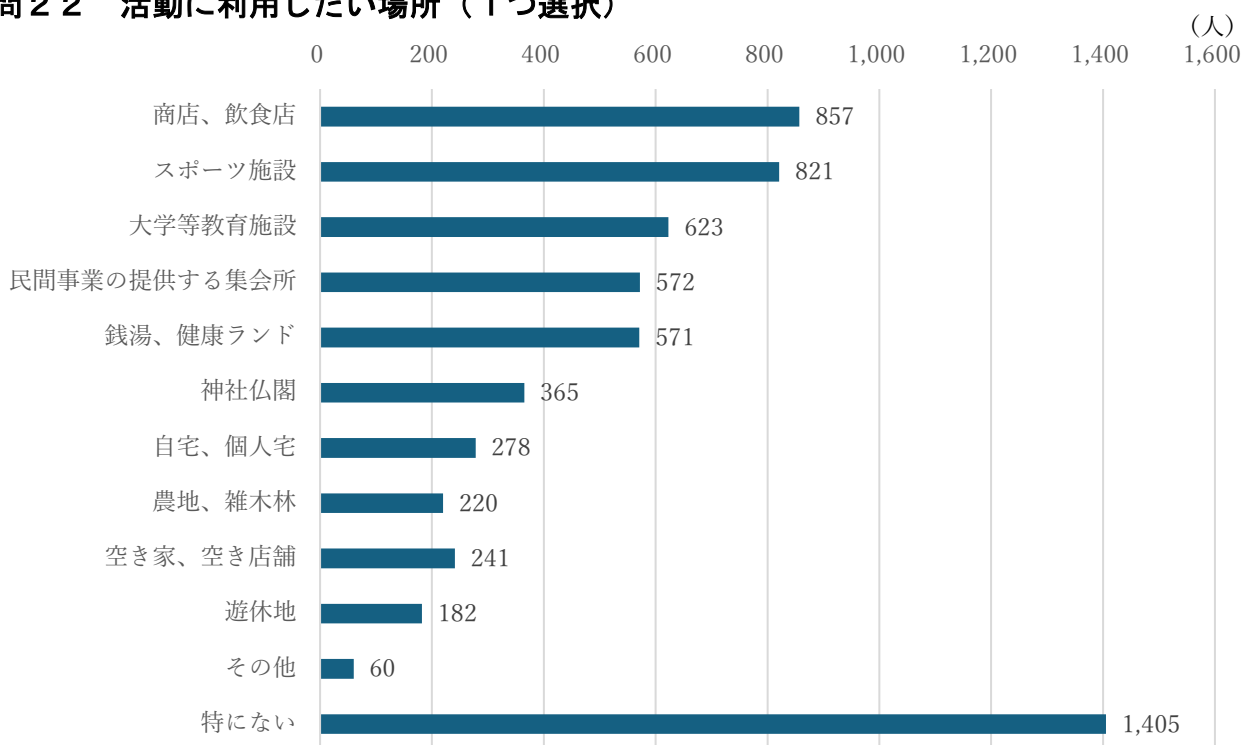


■もっと活用したい ■わからない ■無回答



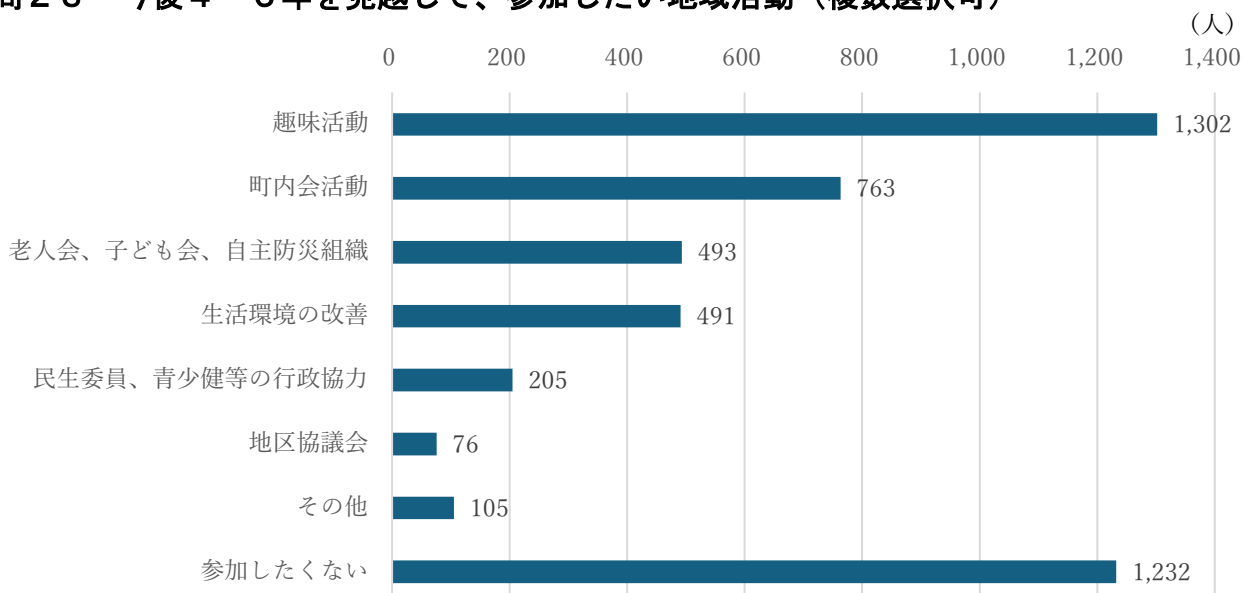
よく知られている施設は、「市民センター・コミュニティセンター」、「公園・広場」、  
ついで「集会所・町内会館」で、7割を超える人が知っている。

## 問 2 2 活動に利用したい場所（1つ選択）



「商店、飲食店」、「スポーツ施設」、「大学等教育施設」の順に回答数が多い。また、2006 年度調査にはなく本調査で新設した「民間事業の提供する集会所」が 4 番目に回答数が多かった。

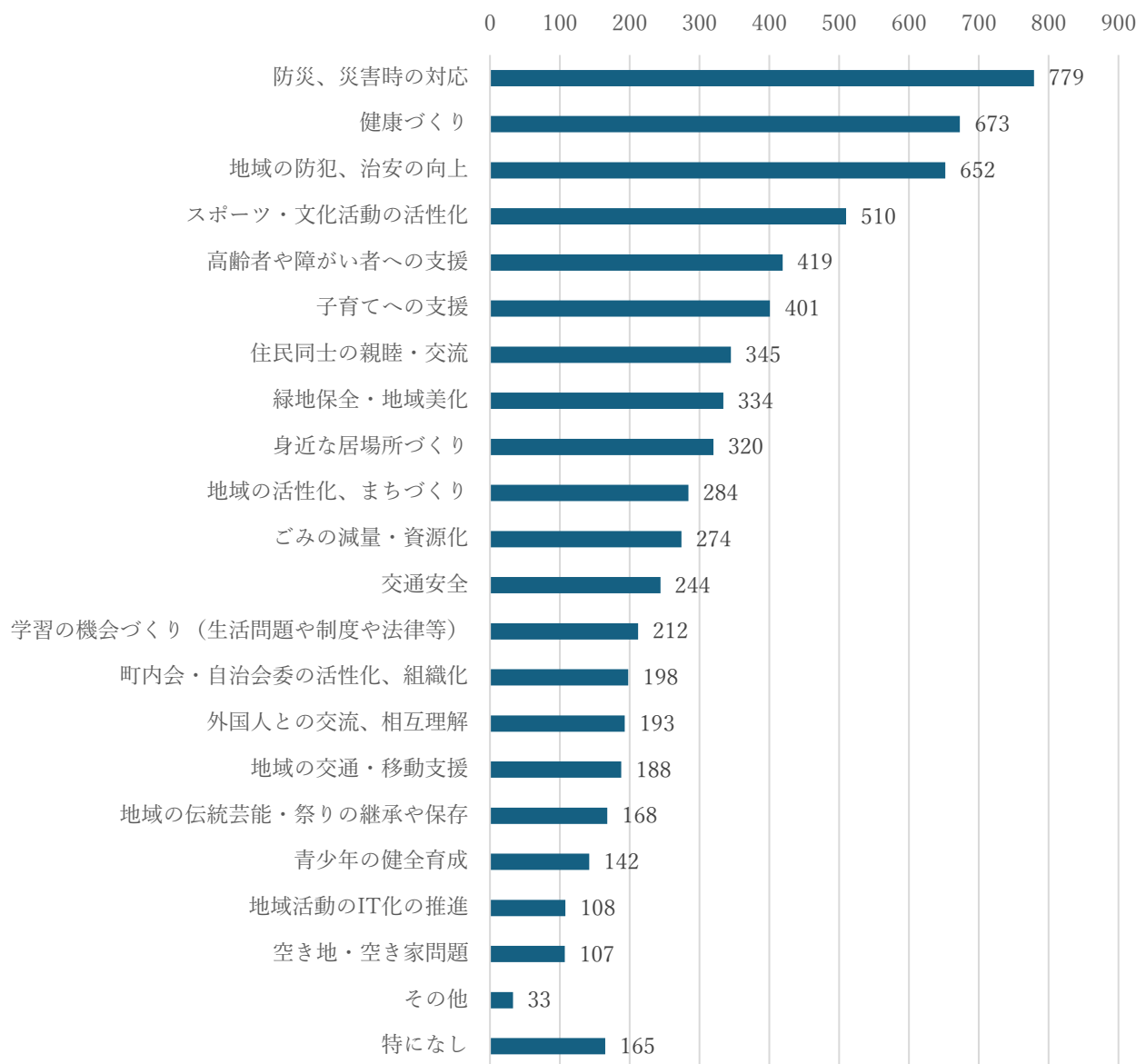
## 問 2 3 今後 4～5 年を見越して、参加したい地域活動（複数選択可）



2006 年度調査と比べてどの活動も数値が低下している一方で、地域活動に「参加したくない」と回答した人は大幅に増加した。

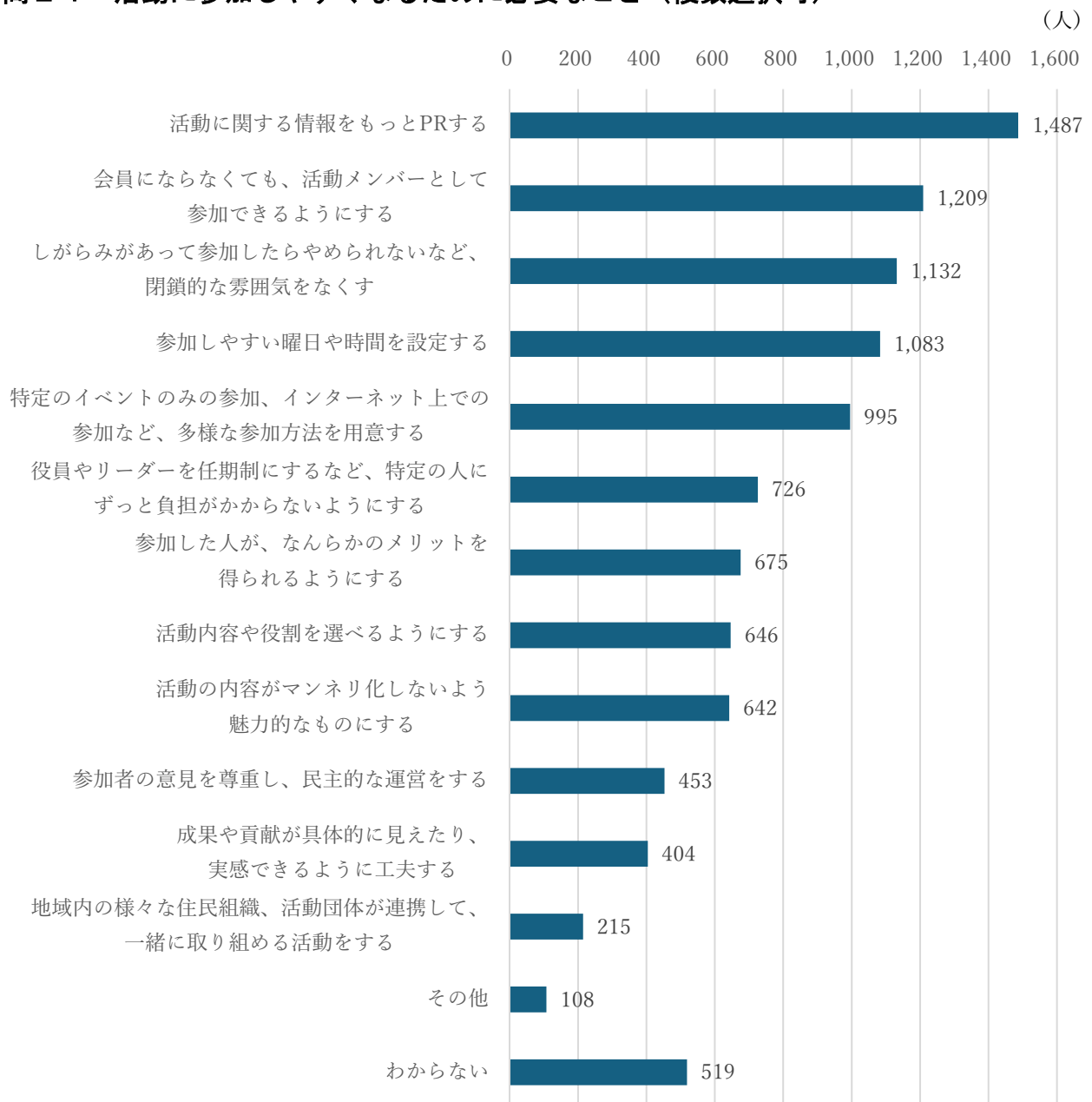
### 問 2 3 - 1 取り組みたいと思うテーマ（複数選択可）

（人）



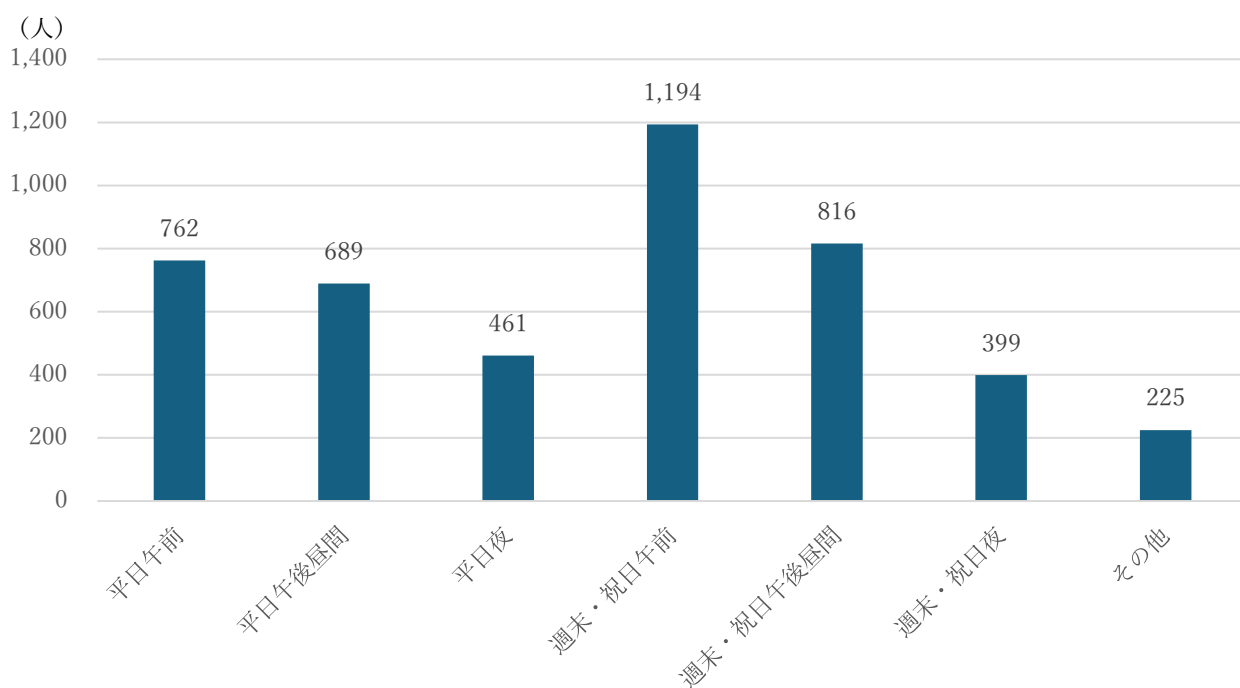
2006 年度調査では回答数の多い順が明瞭に、「地域の防犯、治安の向上」→「防災、災害時の対応」→「健康づくり」、であったが、本調査では、「防災、災害時の対応」→「健康づくり」→「地域の防犯、治安の向上」となった。

## 問 2 4 活動に参加しやすくなるために必要なこと（複数選択可）



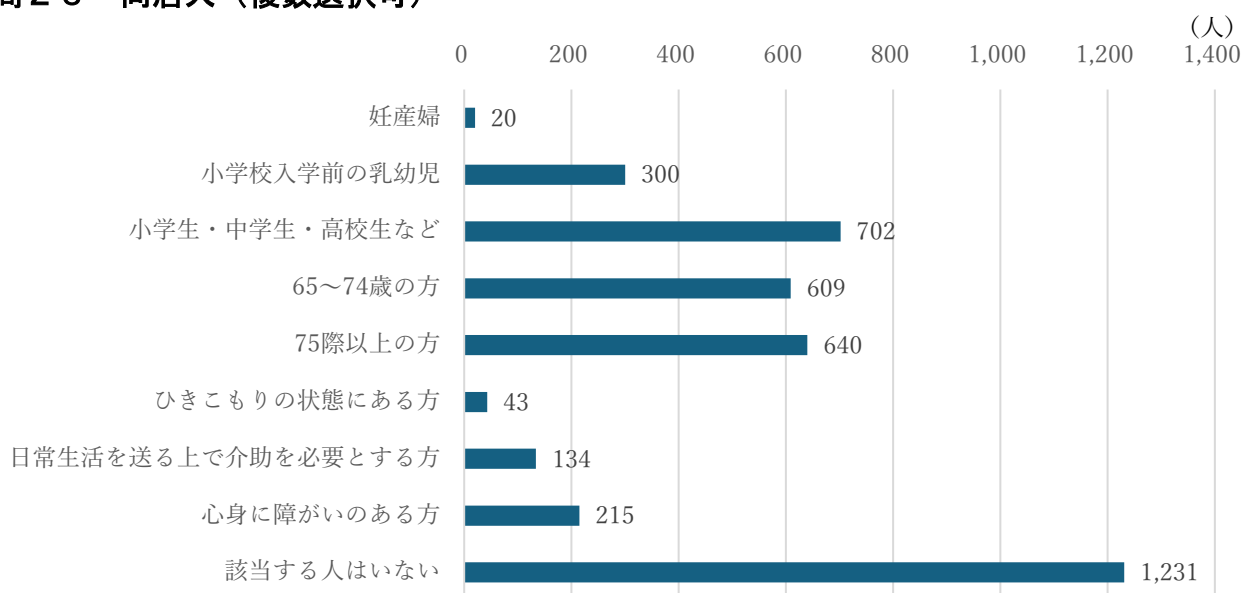
2006 年度調査同様「活動に関する情報をもっと PR する」が最も回答数が多い。2 番目に回答数が多かった「会員にならなくても、活動メンバーとして参加できるようにする」は 2006 年度調査では 3 番目に多い回答数であった。

## 問 2 5 活動に参加しやすい曜日、時間帯（複数選択可）



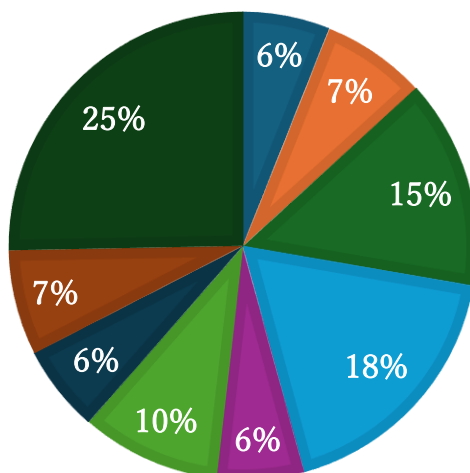
「週末・祝日午前」と回答した人が最も多く、2 番目は「週末・祝日午後昼間」であった。平日より週末・祝日を希望する人が多い。

## 問 2 6 同居人（複数選択可）



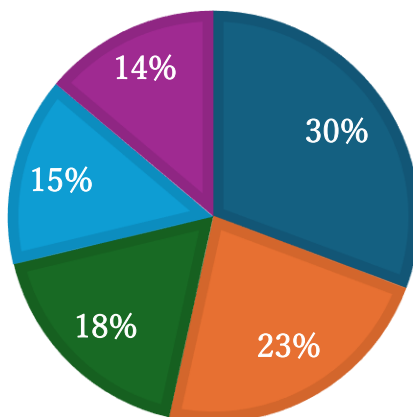
### 問 2 6 - 1 ひきこもりの状態にある方の年齢（1つ選択）

- 小学生・中学生
- 10歳代(中学校卒業後)
- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳以上
- わからない



### 問 2 6 - 2 ひきこもりの人への支援として望むこと（1つ選択）

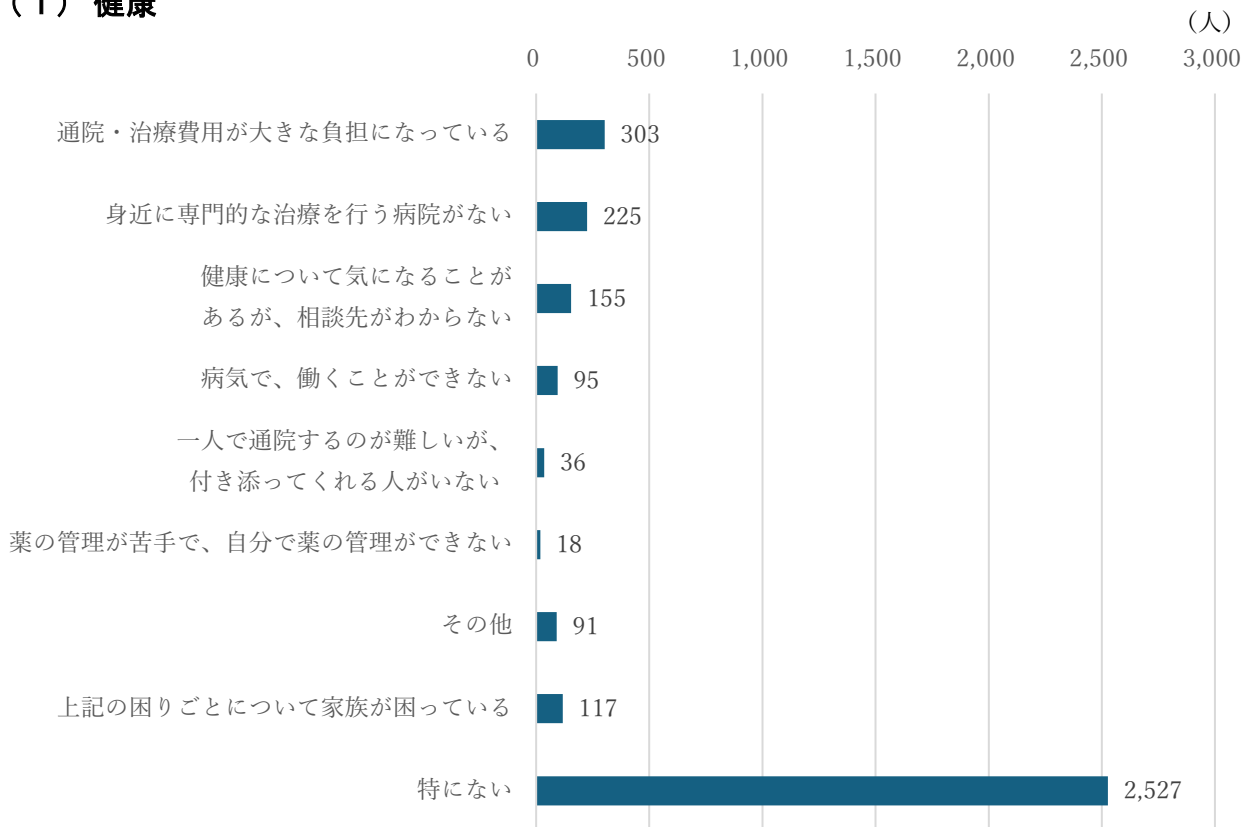
- そっとしておいてほしい
- 本人に合いそうな医療機関やカウンセリング機関を紹介してほしい
- 本人や家族の悩み相談を聞いてほしい
- 本人に合いそうな就労先、就労訓練機関を紹介してほしい
- 本人に合いそうな居場所・コミュニティ・サークル等を紹介してほしい



「そっとしておいてほしい」が最も多く、「医療機関やカウンセリング機関を紹介してほしい」が続いた。

## 問27 暮らしの困りごと（複数選択可）

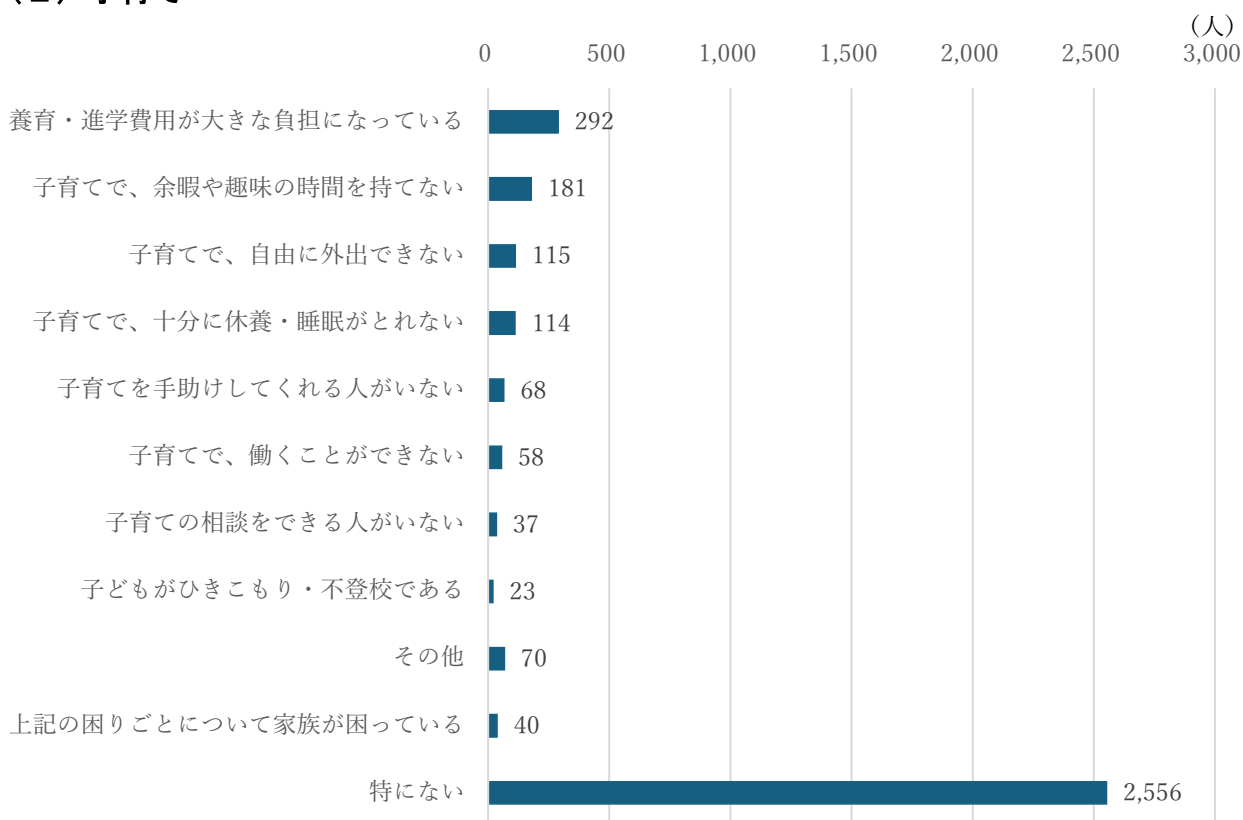
### （1）健康



「通院・治療費用が大きな負担になっている」、「身近に専門的な治療を行う病院がない」、「健康について気になることがあるが、相談先がわからない」の順に多い。

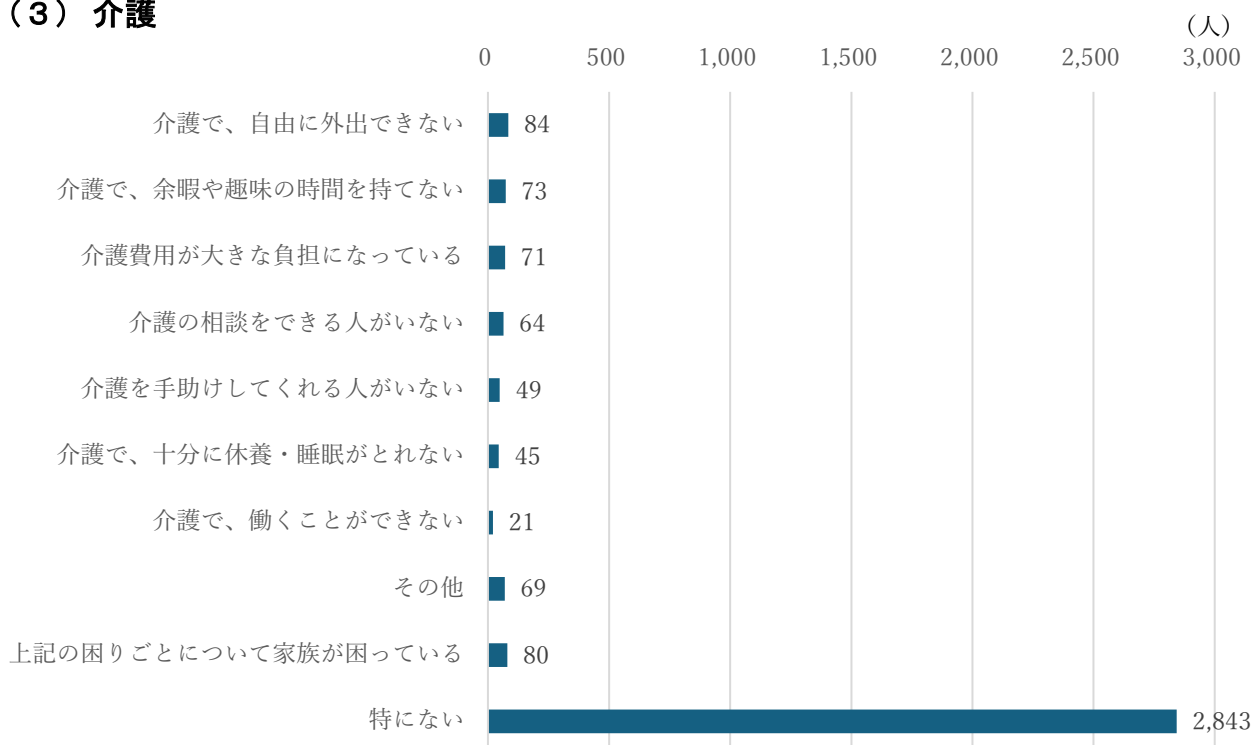


## (2) 子育て



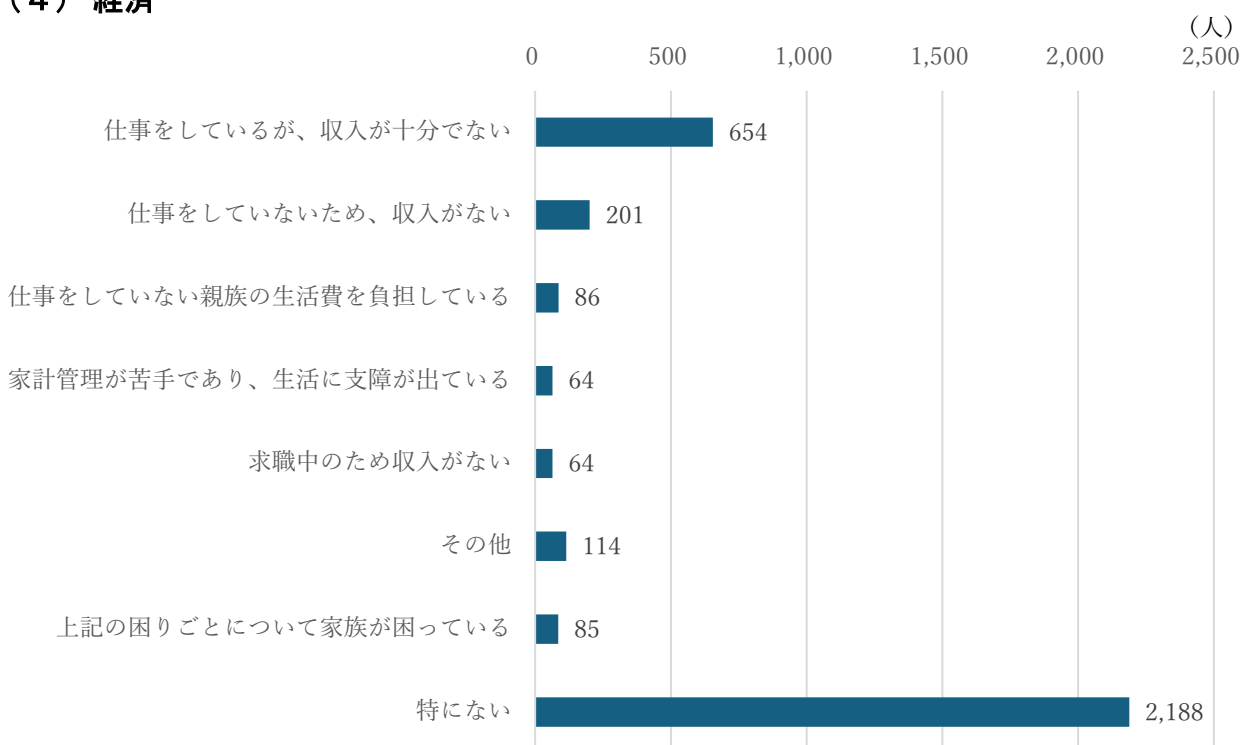
「養育・進学費用が大きな負担になっている」、「子育てで、余暇や趣味の時間を持ってない」、「子育てで、自由に外出できない」、「子育てで、十分に休養・睡眠がとれない」の順に多い。

### (3) 介護



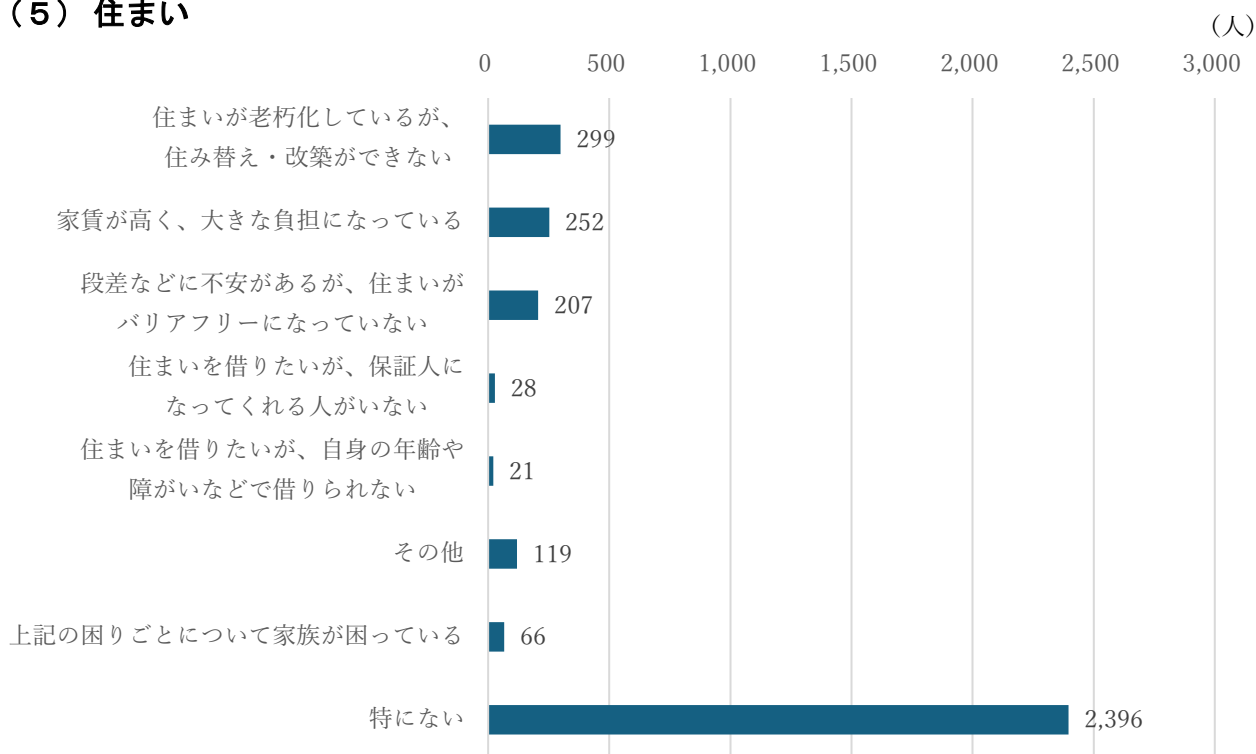
「介護で、自由に外出できない」、「介護で、余暇や趣味の時間を持てない」、「介護費用が大きな負担になっている」の順に多い。

### (4) 経済



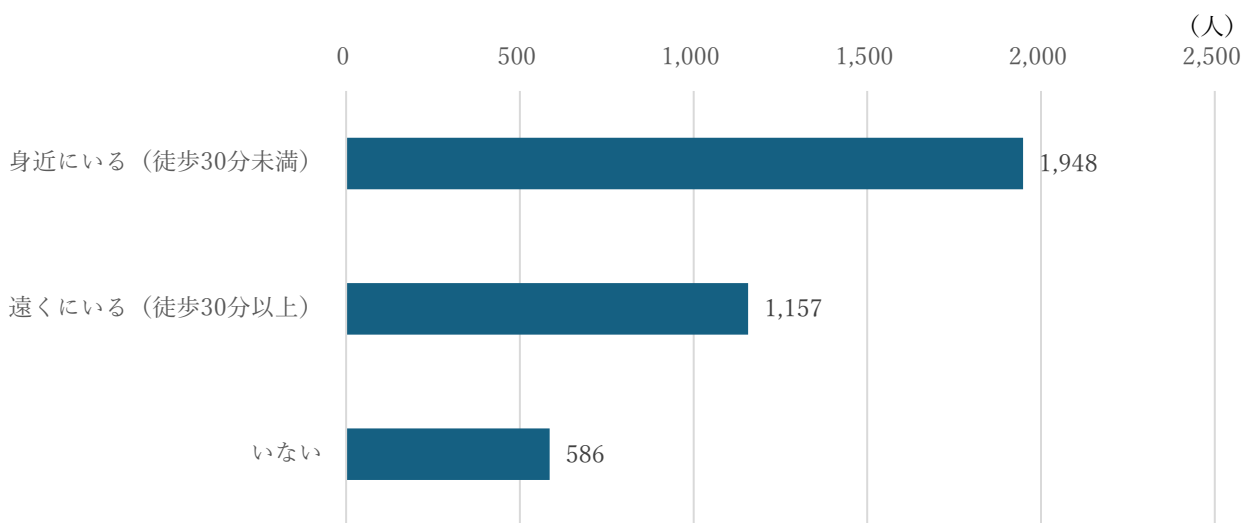
「仕事をしているが、収入が十分でない」、「仕事をしていないため、収入がない」の順に多い。

## (5) 住まい



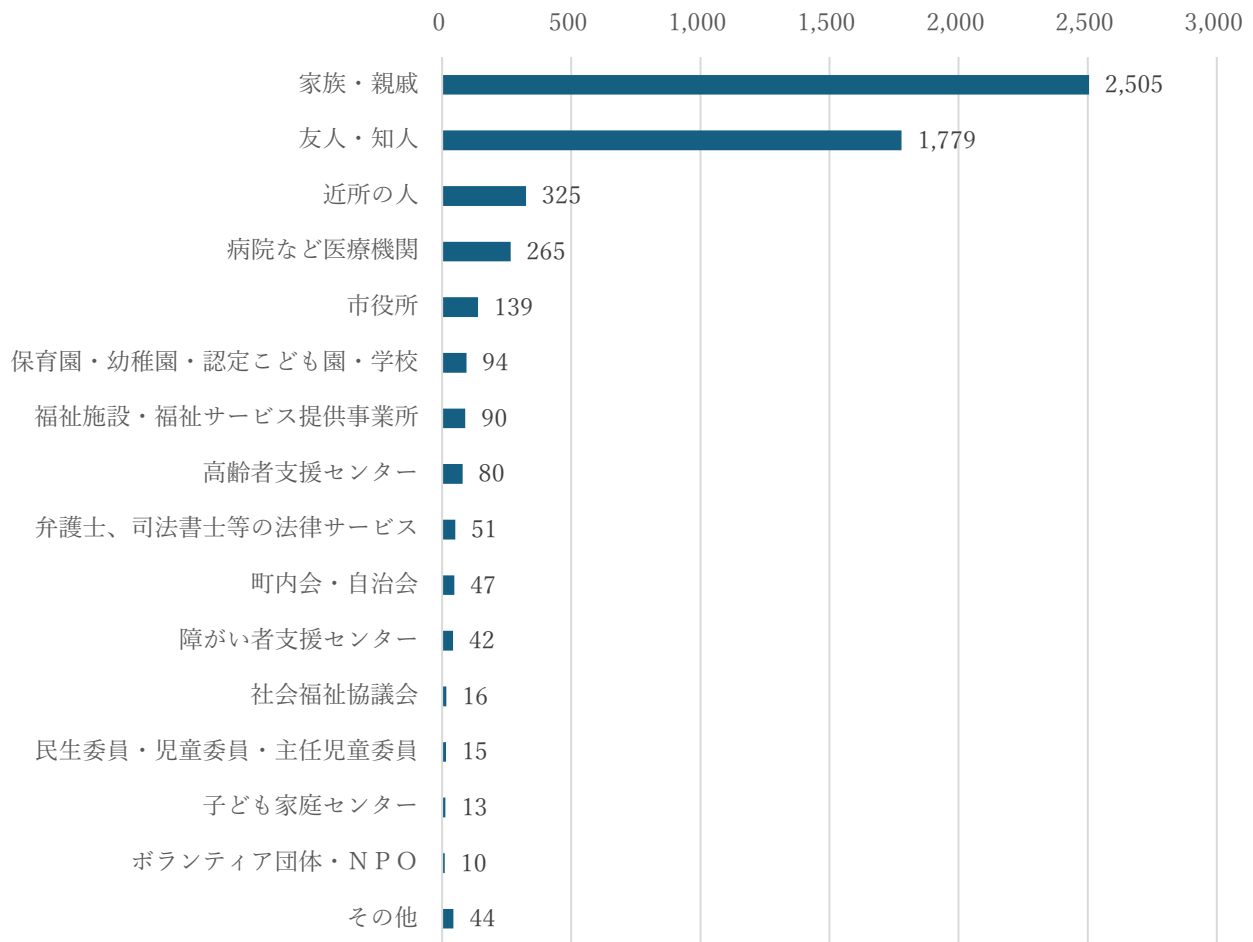
「住まいが老朽化しているが、住み替え・改築ができない」、「家賃が高く、大きな負担になっている」、「段差などに不安があるが、住まいがバリアフリーになっていない」の順に多い。

## 問 28 悩み事や困りごとを相談できる相手の有無（複数選択可）



悩み事や困りごとを相談できる相手が「いない」と回答した人が約2割いた。

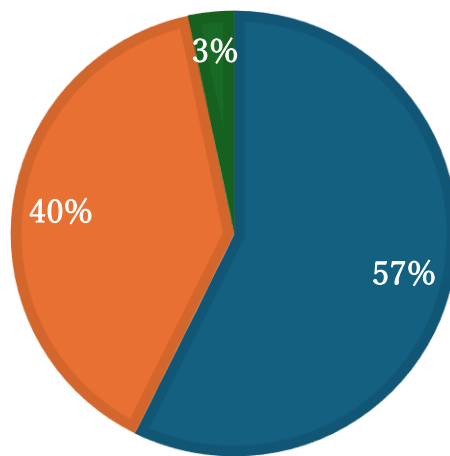
## 問 28-1 相談できる相手（複数選択可）



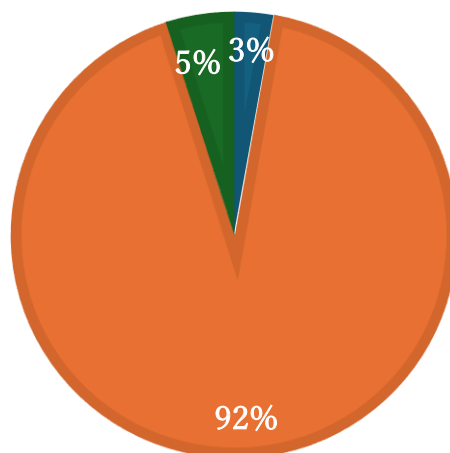
相談できる相手は「家族・親戚」、「友人・知人」と回答した人が大半を占めた。

問 2 9 相談窓口の認知度、利用歴、利用意向（1つ選択）  
（1）民生委員・児童委員・主任児童委員

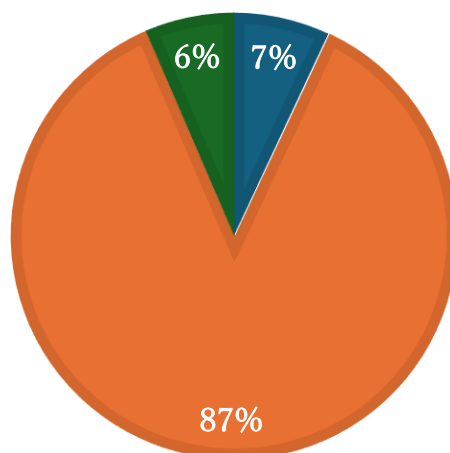
■知っている ■知らない ■無回答



■利用したことがある ■利用したことがない ■無回答

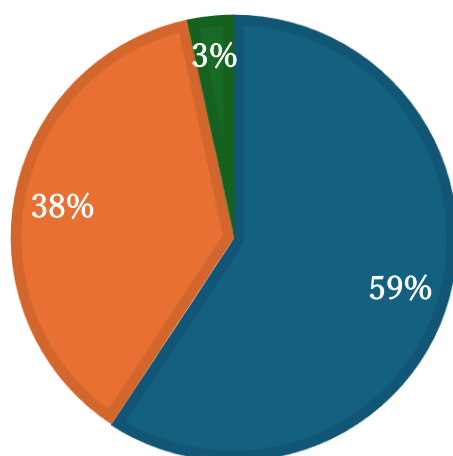


■今後利用したい ■わからない ■無回答

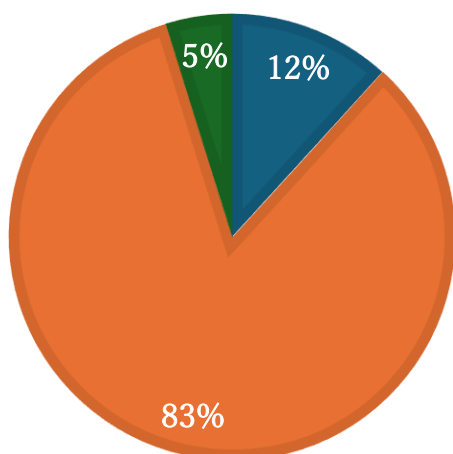


## (2) 高齢者支援センター

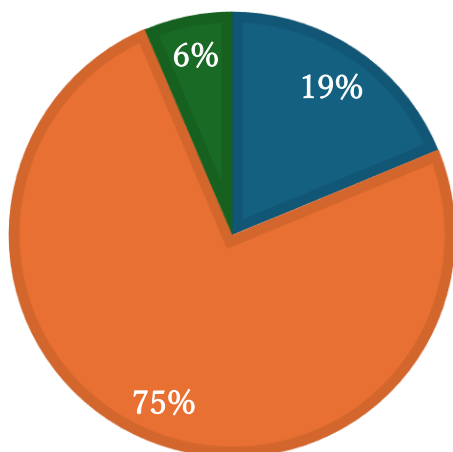
■知っている ■知らない ■無回答



■利用したことがある ■利用したことがない ■無回答

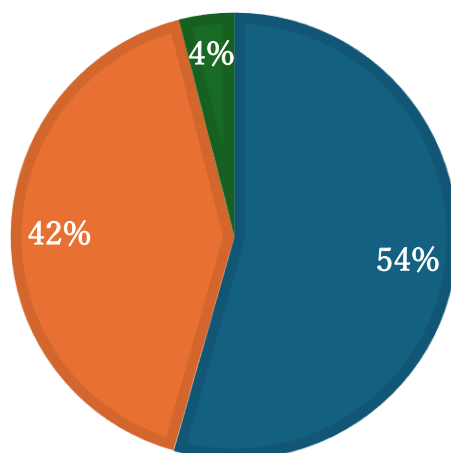


■今後利用したい ■わからない ■無回答

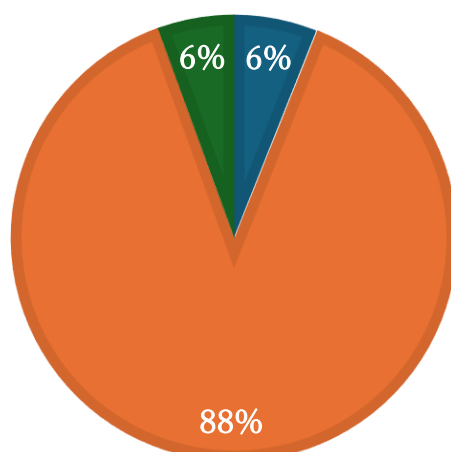


### (3) 障がい者支援センター

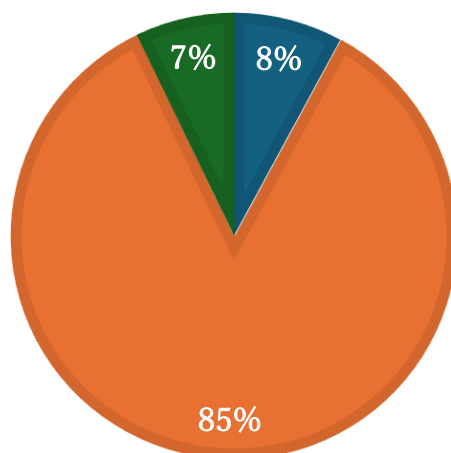
■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答



■ 利用したことがある ■ 利用したことがない ■ 無回答

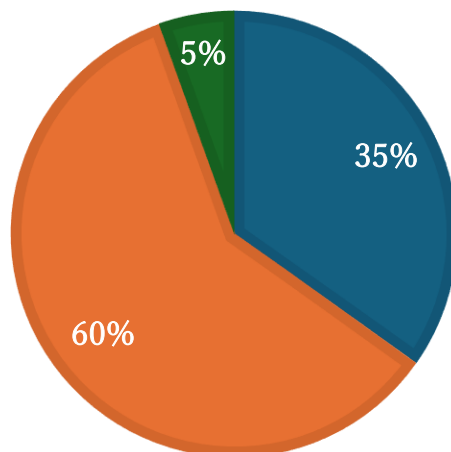


■ 今後利用したい ■ わからない ■ 無回答

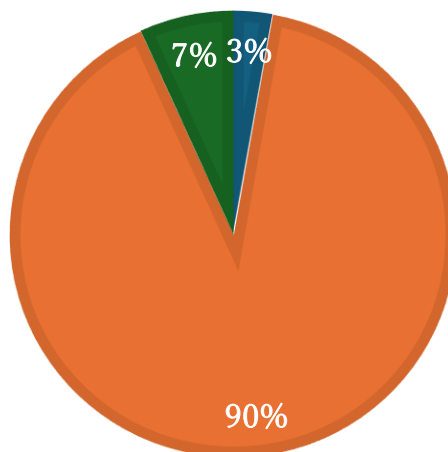


#### (4) 子ども家庭センター

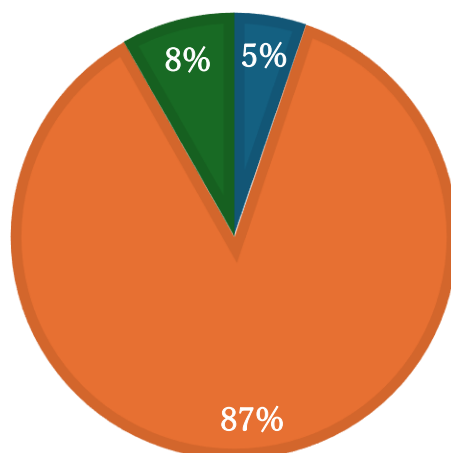
■知っている ■知らない ■無回答



■利用したことがある ■利用したことがない ■無回答



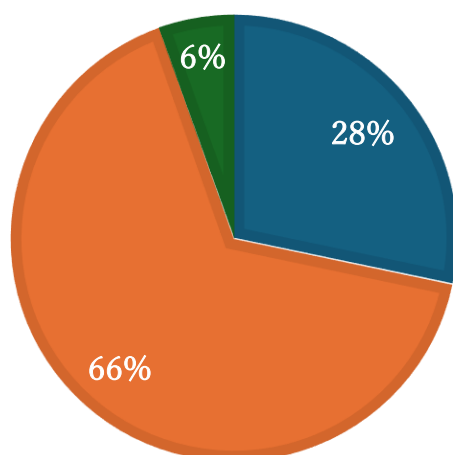
■今後利用したい ■わからない ■無回答



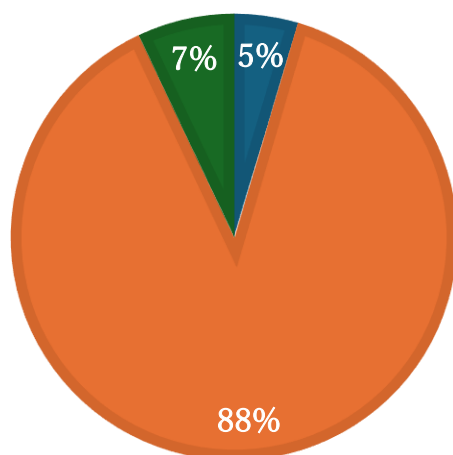


## (5) 子ども発達センター

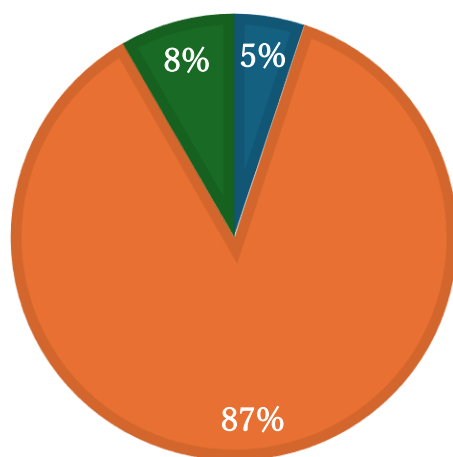
■知っている ■知らない ■無回答



■利用したことがある ■利用したことがない ■無回答

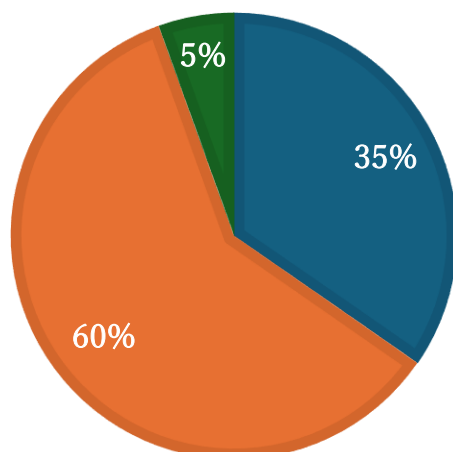


■今後利用したい ■わからない ■無回答

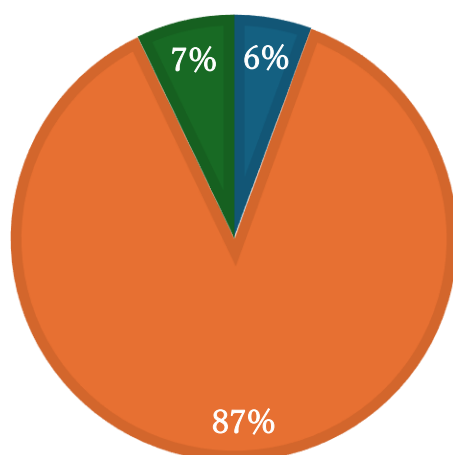


## (6) 地域子育て相談センター

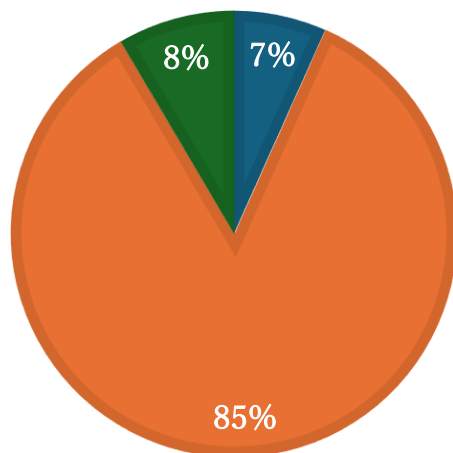
■知っている ■知らない ■無回答



■利用したことがある ■利用したことがない ■無回答

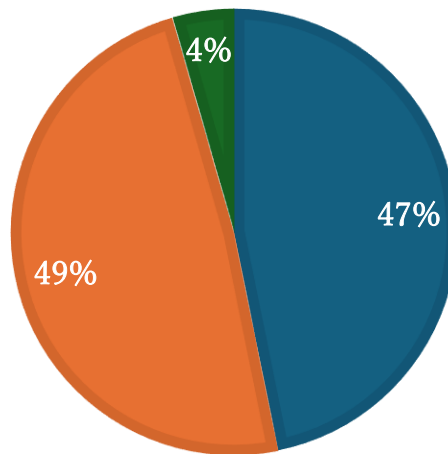


■今後利用したい ■わからない ■無回答

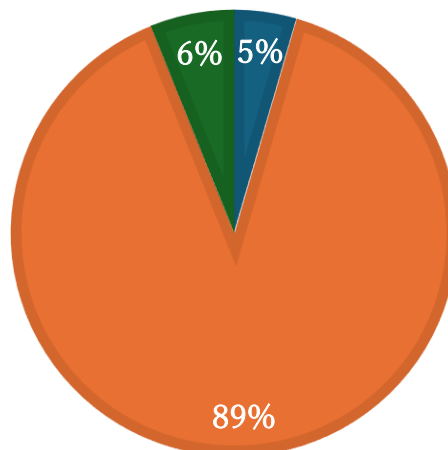


## (7) 社会福祉協議会

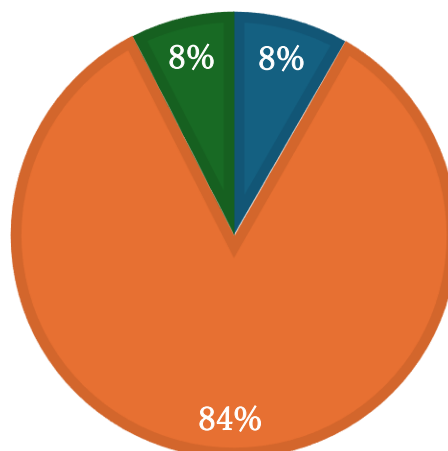
■知っている ■知らない ■無回答



■利用したことがある ■利用したことがない ■無回答

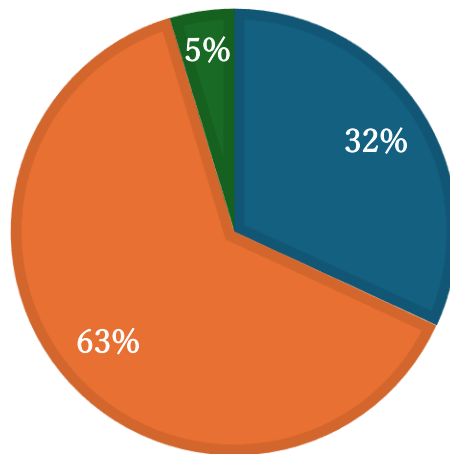


■今後利用したい ■わからない ■無回答

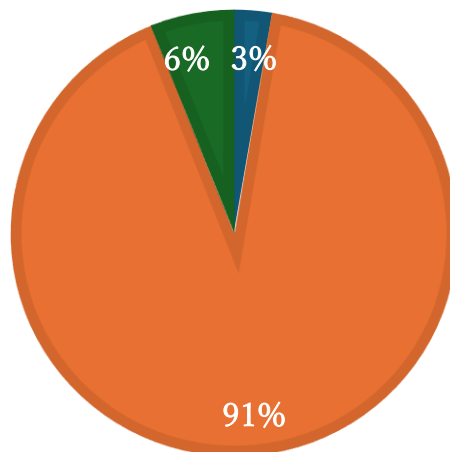


## (8) 町田ボランティアセンター

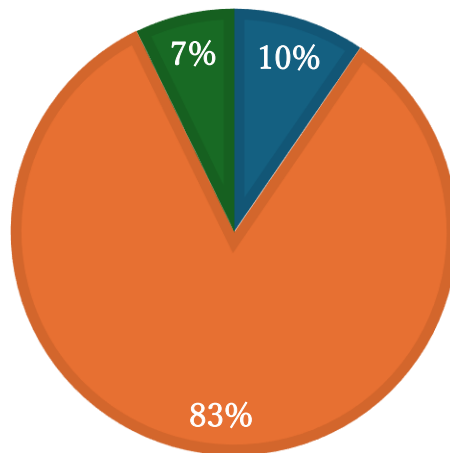
■知っている ■知らない ■無回答



■利用したことがある ■利用したことがない ■無回答

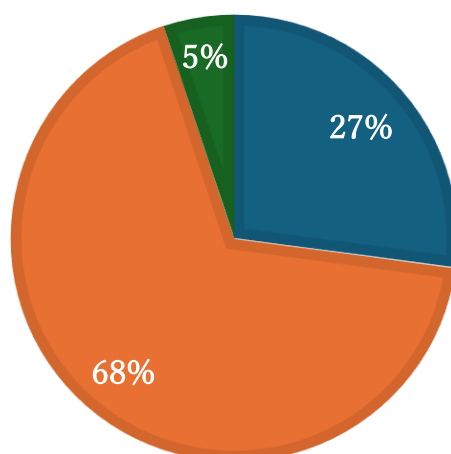


■今後利用したい ■わからない ■無回答

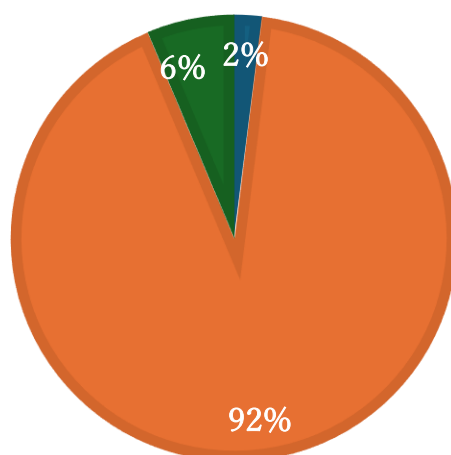


## (9) 生活・就労相談窓口

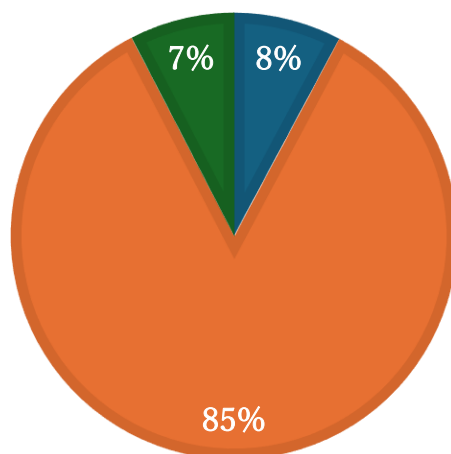
■知っている ■知らない ■無回答



■利用したことがある ■利用したことがない ■無回答

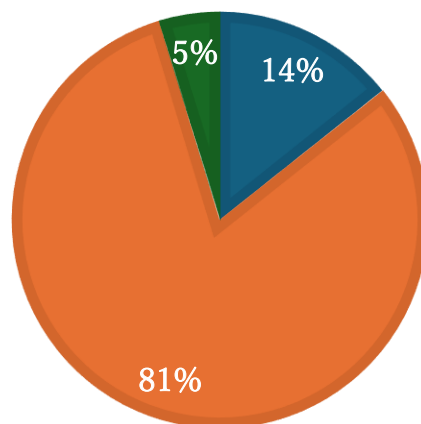


■今後利用したい ■わからない ■無回答

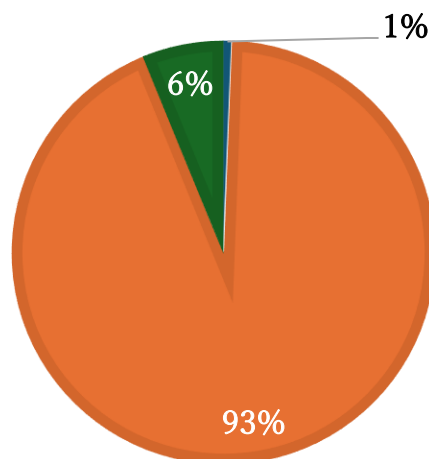


## (10) まちだ福祉〇ごとサポートセンター

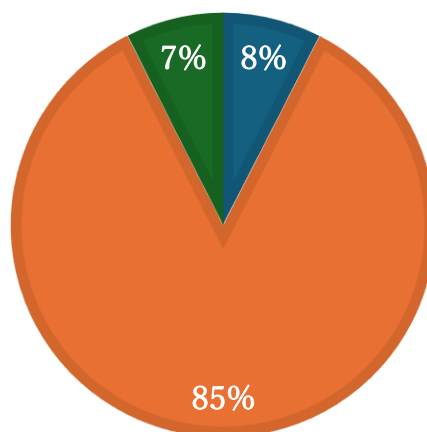
■知っている ■知らない ■無回答



■利用したことがある ■利用したことがない ■無回答



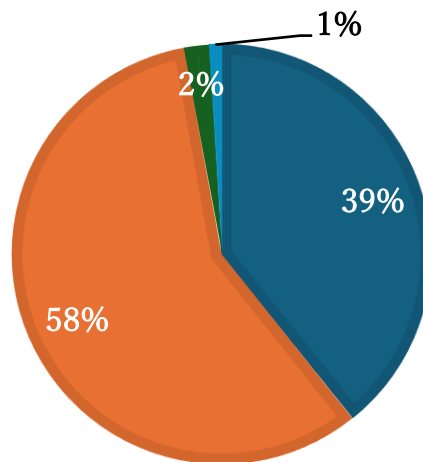
■今後利用したい ■わからない ■無回答



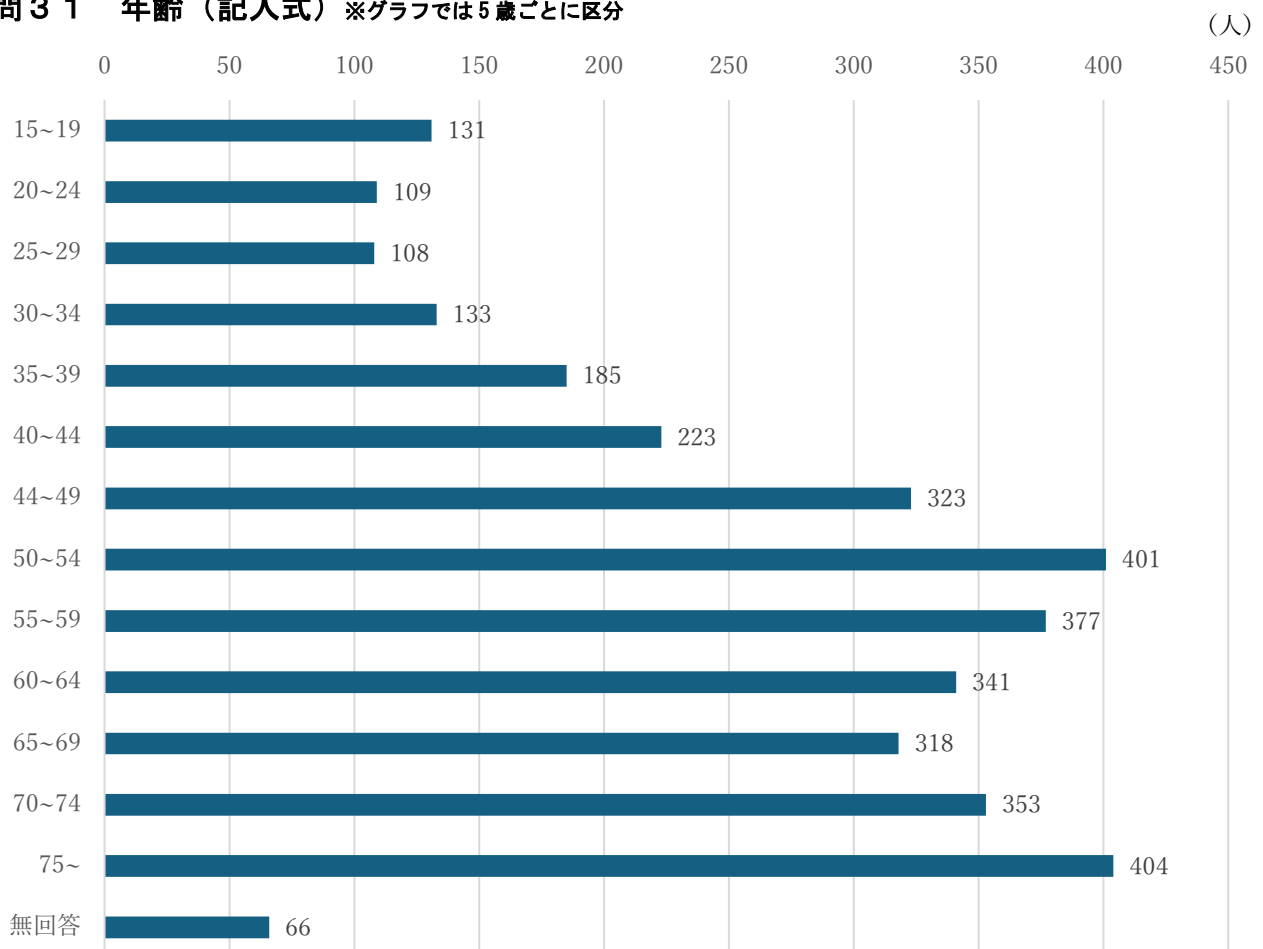
高齢者支援センターの認知度は高い。まちだ福祉〇ごとサポートセンターは、全ての地区で展開している訳ではないため、知名度は低い。しかし、利用したい人は約 7%と他の機関と同様の割合である。

### 問 3 0 性別（１つ選択）

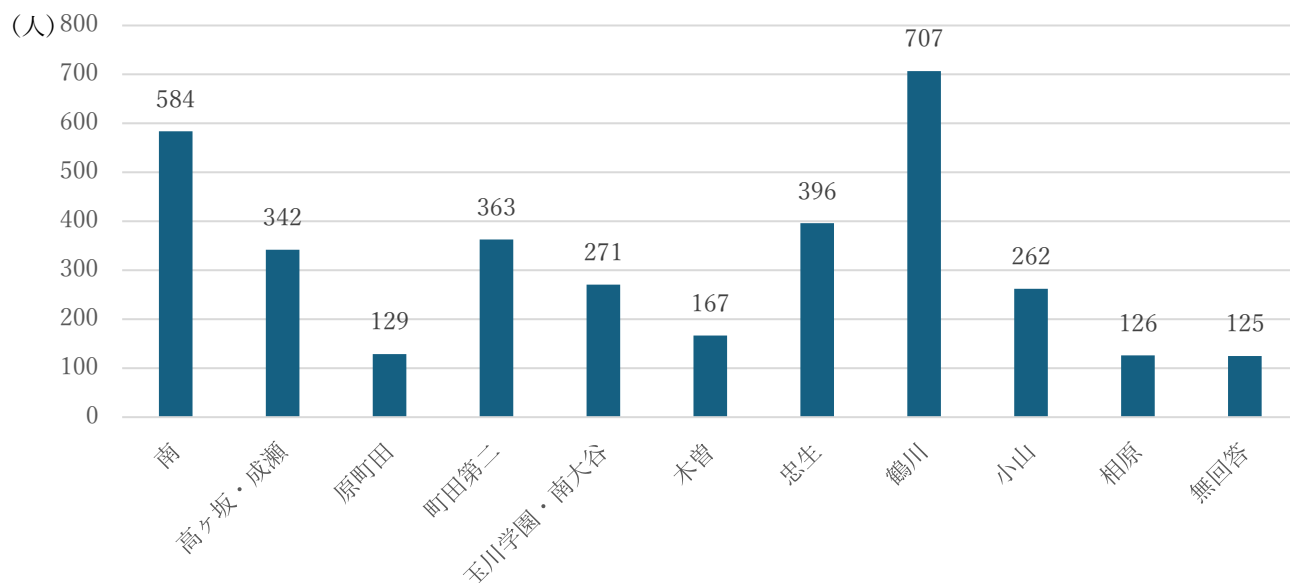
■男性 ■女性 ■その他または答えない ■無回答



### 問 3 1 年齢（記入式）※グラフでは５歳ごとに区分

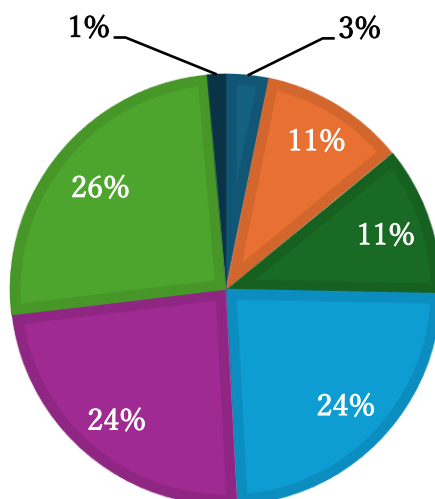


### 問 3 2 郵便番号（記入式） ※地区協議会の区分けに基づき分類



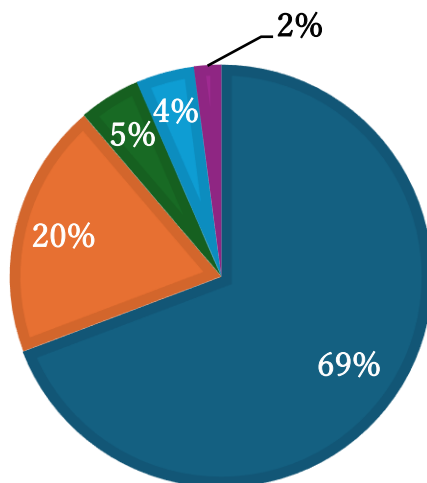
### 問 3 3 居住年数（1つ選択）

■ 1年未満 ■ 1年以上5年未満 ■ 5年以上10年未満 ■ 10年以上20年未満 ■ 20年以上30年未満 ■ 30年以上 ■ 無回答



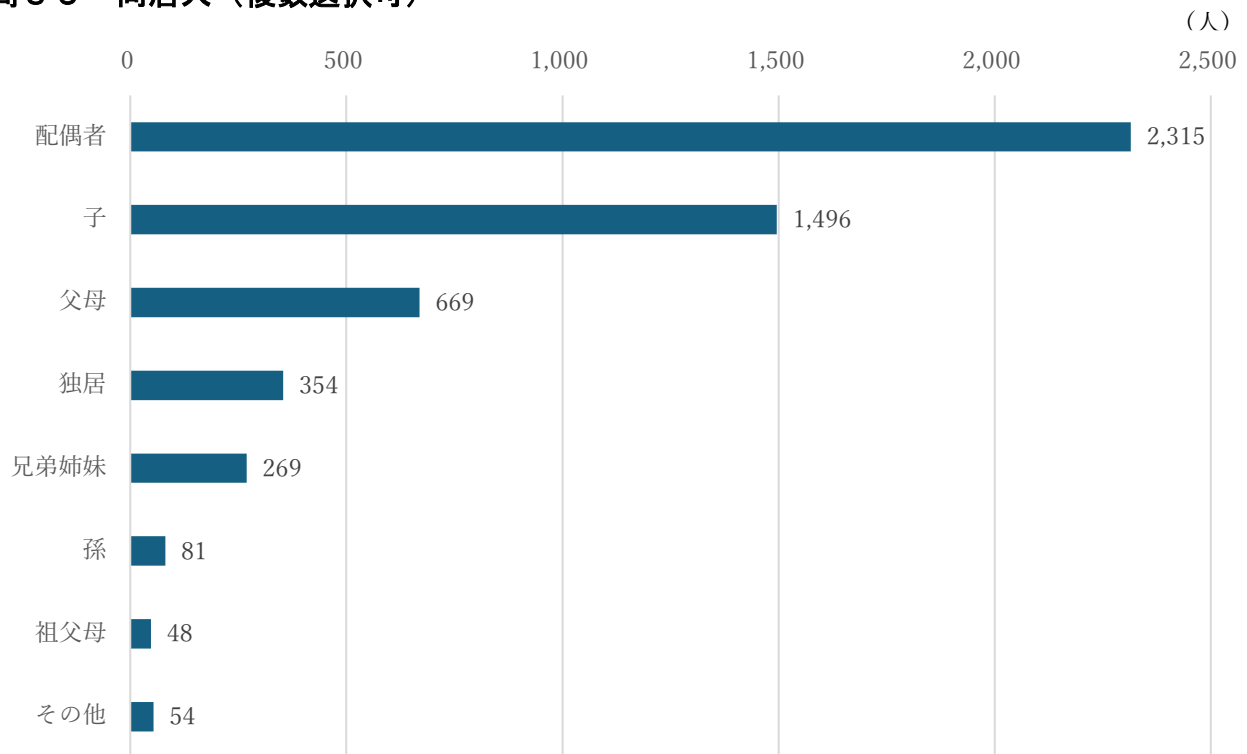
### 問 3 4 配偶者の有無（1つ選択）

■ あり ■ 未婚 ■ 離別 ■ 死別 ■ 無回答

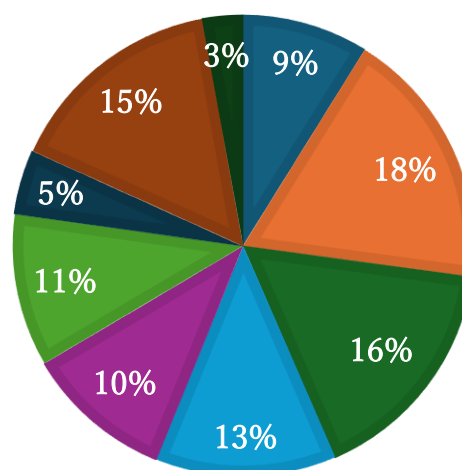
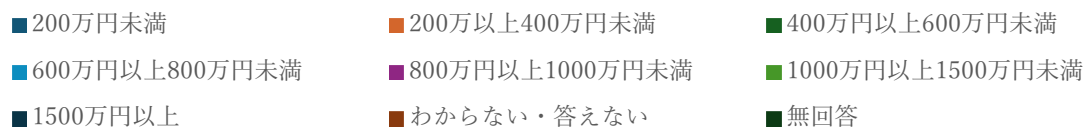




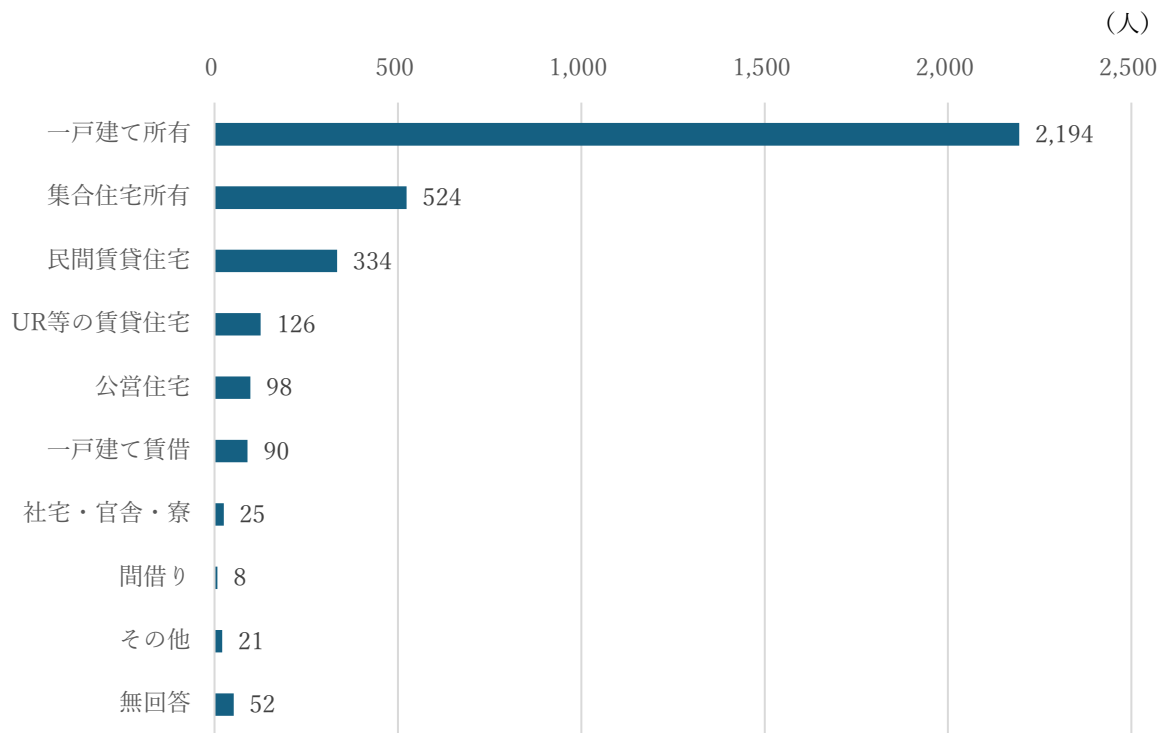
### 問3 5 同居人（複数選択可）



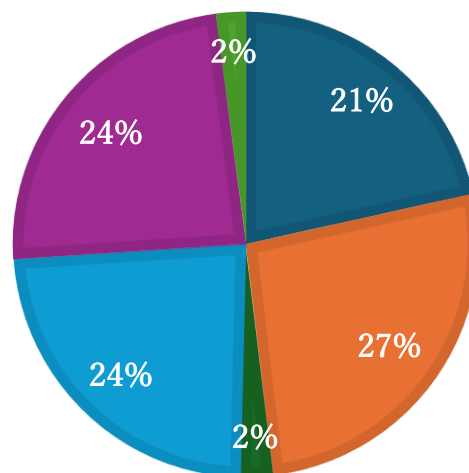
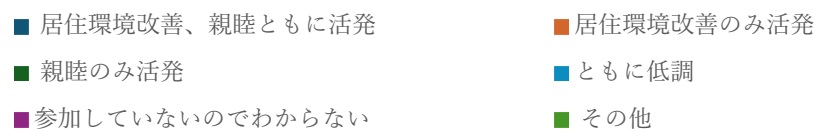
### 問3 6 世帯収入（1つ選択）



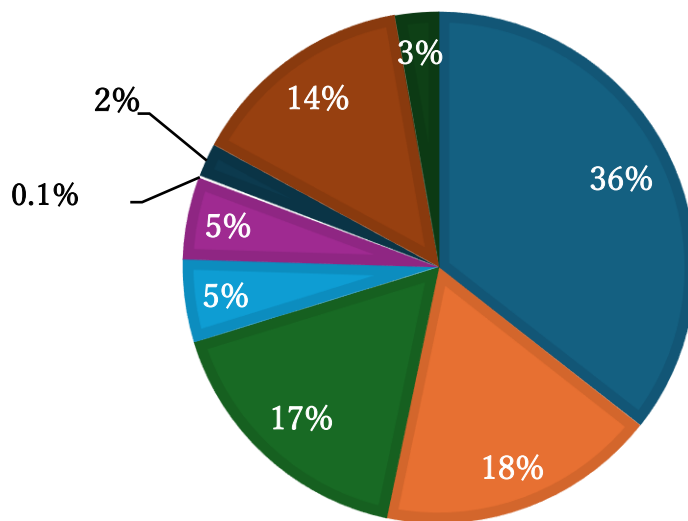
### 問 3 7 居住形態（1つ選択）



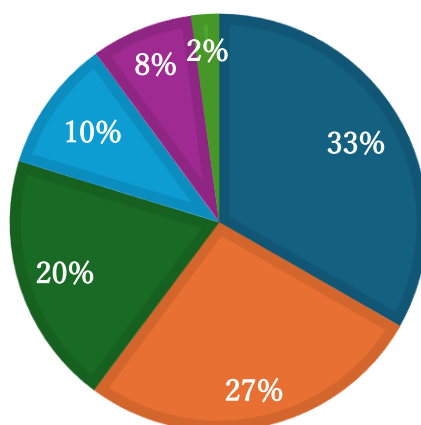
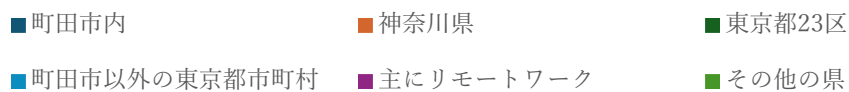
#### 問 3 7 - 1 集合住宅での住民活動状況（1つ選択）



### 問 3 8 職 業（1 つ選 択）

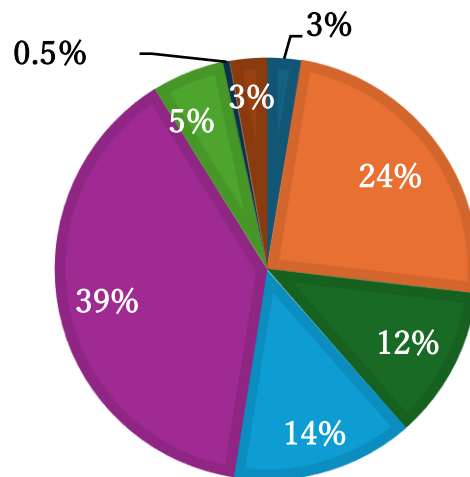


### 問 3 8 - 1 通 勤・通 学 先（1 つ選 択）



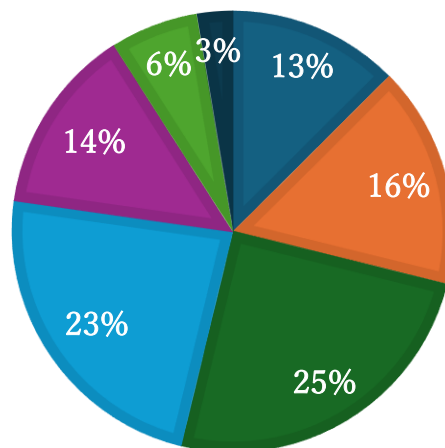
### 問 3 9 学歴（1つ選択）

■ 中学校 ■ 高校 ■ 専門学校 ■ 高専門学校、短期大学 ■ 大学 ■ 大学院 ■ その他 ■ 無回答



### 問 4 0 1週間のうち自由に行動できる時間（1つ選択）

■ ほとんどない ■ 10時間程度まで ■ 10～20時間程度 ■ 20～40時間程度  
■ 40～70時間程度 ■ 70時間以上 ■ 無回答



問４１ 幸福度（１つ選択）  
（１【幸せでない】～１０【幸せである】）

